

# 学校選択制の現状に関する調査・分析結果について（鶴見区）

## 1 目的

本市では、大阪の教育力の向上、充実を図り、教育の振興を推進し、子どもたちの最善の利益を図るため、子どもや保護者の意向に答えていく必要があるとの観点から、平成24年度に学校選択制の制度化を行いました。

地域の実情に即した制度とするため、具体的な制度の方針案を区ごとに策定し、平成26年度入学者から小学校6区、中学校12区で開始。その後、順次実施してきており、鶴見区では、小学校は平成27年度、中学校は平成26年度から実施しています。平成31年度入学者からは、小学校・中学校ともすべての区で実施しています（生野区の一部を除く）。学校選択制を利用して通学区域外の学校に就学した児童生徒の割合についても、年々増加している状況となっており、制度として定着してきていますが、制度の導入から年数が経過していることから、検証を行う必要があります。

平成27年度の制度導入時に小学校で学校選択制を利用した児童・保護者が、令和2年度に初めて中学校入学時に学校選択制を利用することとなることから、このタイミングを捉え、導入時の「熟議」や「就学制度の改善」において期待されていたメリットや懸念されていた課題について、今後の各区及び市全体において必要な改善を行うための材料の一つとして役立てるために、調査・分析を行いました。

## 2 調査・分析の視点

調査・分析にあたっては、学校選択制導入時の「熟議」や「就学制度の改善について」で期待されたメリットや懸念された課題をひまえ、今後の大阪市の学校選択制を考える上で考慮すべき項目として、次の項目を全区共通の調査・分析の視点として設定しました。

- 【視点①】 学校選択制の満足度はどうか
- 【視点②】 子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができているか
- 【視点③】 子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったか
- 【視点④】 特色ある学校づくりが進んだか
- 【視点⑤】 開かれた学校づくりが進んだか
- 【視点⑥】 児童生徒の通学の安全に課題が生じていないか
- 【視点⑦】 学校と地域、保護者の連携に課題が生じていないか
- 【視点⑧】 区や学校が提供する情報ではなく、風評等による学校の選択がなされていないか
- 【視点⑨】 学校選択制による児童生徒数の増減で、教育的課題が生じていないか

## 3 調査・分析データ

大阪市では、平成26年度の制度導入より毎年保護者アンケートを実施し、保護者の学校選択理由などを経年的に把握しているところです。

今回の調査・分析を行うにあたり、9項目の「調査・分析の視点」を設定し、各項目の分析に必要な質問を従来の保護者アンケートに追加するとともに、新たに地域団体関係者を対象とするアンケート調査、小中学校を対象とする学校選択制の状況調査を行いました。また、制度導入時からの、学校選択の状況や希望調査票の提出状況についてもとりまとめ、分析に活用しています。

### 【アンケート調査】

保護者アンケート＝令和3年度に区内の市立小・中学校に入学した児童生徒の保護者全員を対象に実施

※学校選択制導入時（平成26年度）～昨年度（令和2年度）に入学した児童生徒の保護者全員に実施したアンケート調査結果も使用。

地域団体関係者アンケート＝小・中学校の地域団体役員等を対象に実施。

### 【学校状況調査】

区内の全市立小学校・中学校を対象に実施

### 【運用状況データの活用】

学校選択制によって通学区域外の学校に就学した者の割合、希望調査票の提出状況など

## 4 アンケート調査等の実施時期・回収方法など

### 【保護者アンケート】

令和3年5月下旬に区役所から学校を通じてアンケートを保護者に配付（学校からの配付基準日：5月18日）。

回収は区役所あて6月9日までに返信用封筒で送付。アンケートは無記名。

### 【地域団体関係者アンケート】

令和3年度に、会議などを通じて、地域団体の役員等に配付し、回収。

### 【学校状況調査】

令和3年度に、1つの学校あたり1枚の調査用紙を配付し、回収。

## 5 アンケート回収状況

（保護者アンケート）

	配付数	回収数	回収率
小学校	1,109	586	52.8%
中学校	1,083	567	52.4%

（地域団体関係者アンケート）

	配付数	回収数	回収率
地域団体役員等	107	74	69.2%

（学校調査）

	配付数	回収数	回収率
小学校	12	12	100.0%
中学校	5	5	100.0%

## 6 調査・分析結果

3ページ～33ページのとおり

### ※本報告書の構成について

本報告書では、「調査・分析の視点」の各項目にそって、アンケート結果および学校状況調査、運用状況データの調査・分析結果をとりまとめています。アンケート結果にかかる報告書への掲載データは、一部抜粋して示しております。各アンケートにおける、結果の詳細については、「資料編」をご覧ください。

割合は小数第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%になりません。

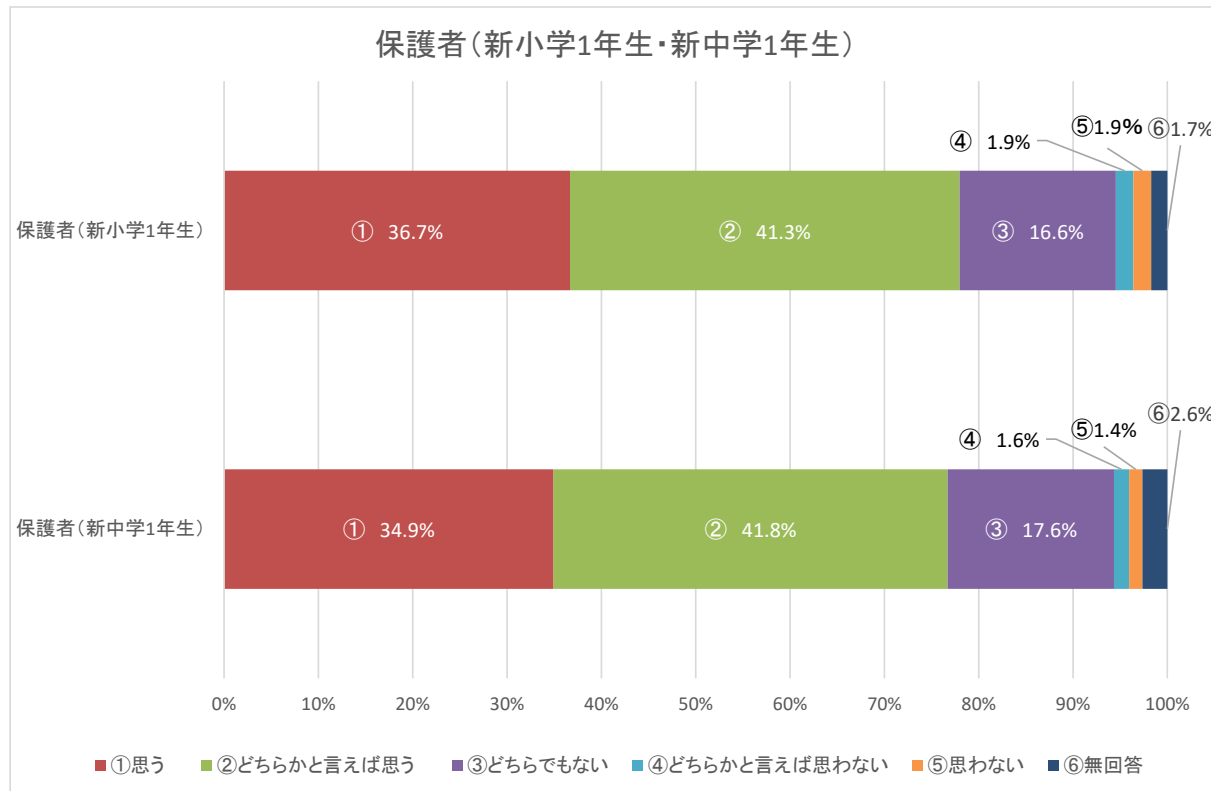
# 調査・分析内容

## 【視点①】学校選択制の満足度はどうか

①学校選択制は、大阪市子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問20、保護者アンケート(新中学1年生):問27]<1つだけ回答>

ア)全体



(分析)

保護者(新小学1年生)の78%、保護者(新中学1年生)の76.7%が、「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、良い制度だと思っていると回答している。一方、保護者(新小学1年生)の3.8%、保護者(新中学1年生)の3%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、良い制度だと思わないと回答している。

【理由】

- 「思う」「どちらかと言えば思う」を選択した保護者(新小学1年生)
  - ・選択の自由があることはいいことだから(102件)
  - ・学校の教育方針・校風など、子どもに合った学校を選べるから(47件)
  - ・校区外でも自宅から近い学校へ通わせられるから(30件)
  - ・学校への関心が高まるから(16件)
  - ・保育園や幼稚園からの友達と同じ学校へ行けるから(14件)
  - ・引越さなくても希望の学校を選べるから(11件)

- 「思わない」「どちらかと言えば思わない」を選択した保護者(新小学1年生)
  - ・選択制の必要性が分からないから(5件)
  - ・学校の特色に違いがないから(4件)
  - ・選べるからこそ迷ってしまうから(1件)
  - ・地域交流が大事だと考えているから(1件)

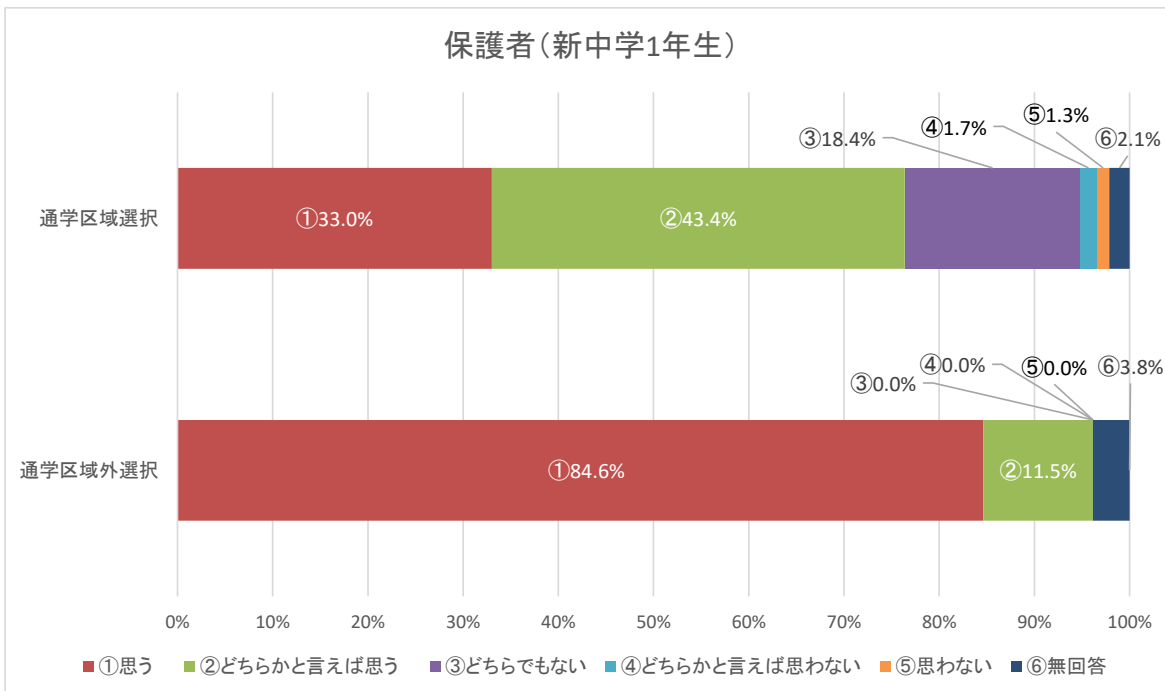
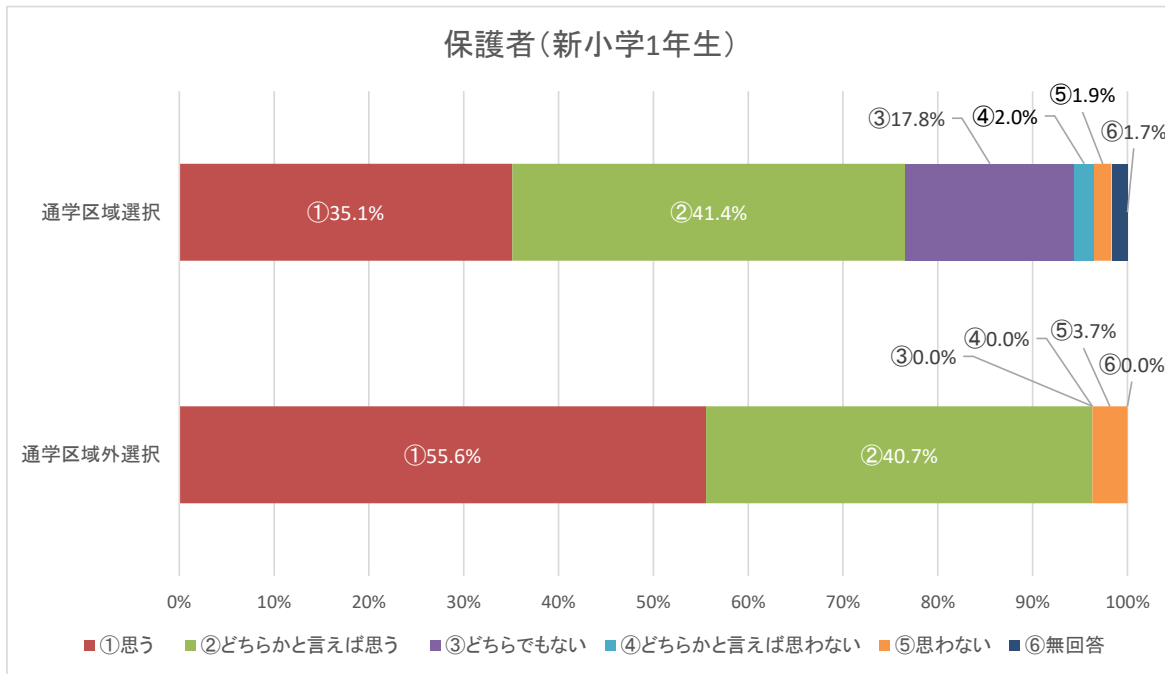
○「思う」「どちらかと言えば思う」を選択した保護者（新中学1年生）

- ・ 選択の自由があることはいいことだから（81件）
- ・ 学校の教育方針・部活など、子どもに合った学校を選べるから（58件）
- ・ いじめを受けていた場合、小学校の時と環境を変えられるから（22件）
- ・ 校区外でも自宅から近い学校へ通わせられるから（11件）
- ・ 家庭の事情等に合わせた学校を選択できるから（11件）
- ・ 学校に特色が出るから（5件）
- ・ 学校への関心が高まるから（3件）

○「思わない」「どちらかと言えば思わない」を選択した保護者（新中学1年生）

- ・ 選択制の必要性が分からないから（5件）
- ・ 希望した学校へ入れるわけではないから（3件）
- ・ 学校と地域のつながりが校区が違っていると問題だから（1件）
- ・ 選択制があってもなくても、結局学校は先生次第だと思うから（1件）

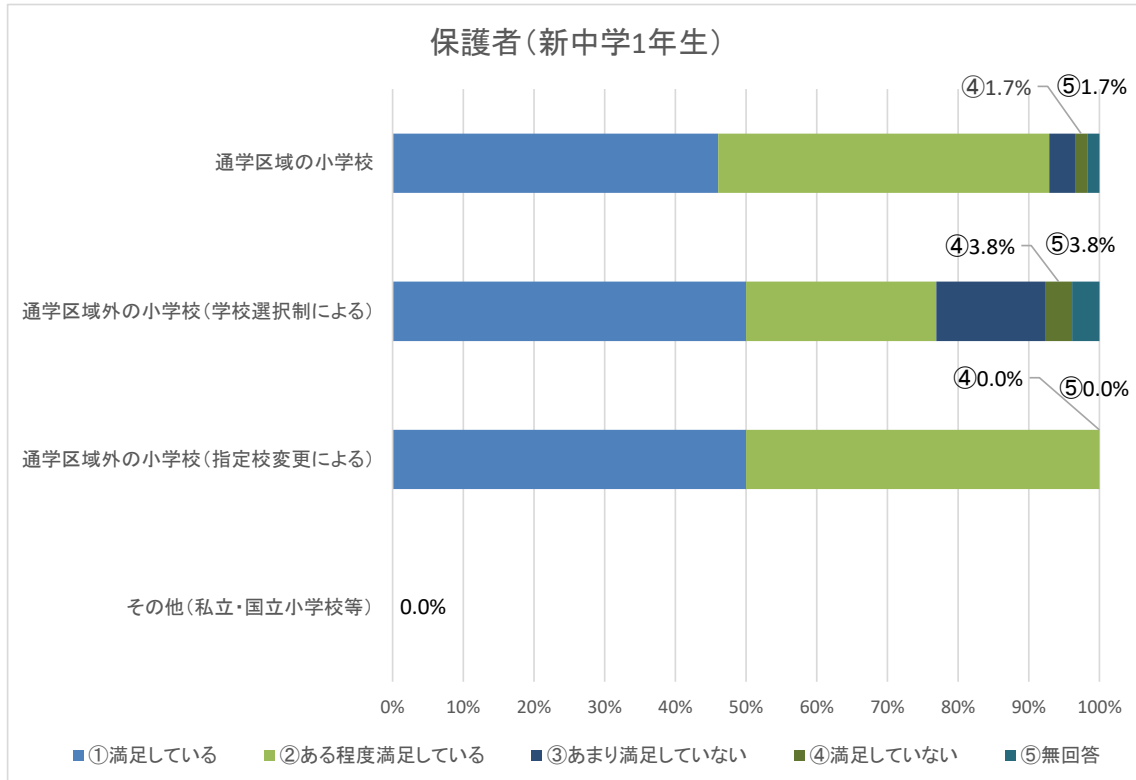
イ) 通学区域・通学区域外別



(分析)  
 通学区域の学校を選択をした保護者(新小学1年生)の76.5%、保護者(新中学1年生)の76.4%が、「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、良い制度と思うと回答している。一方、通学区域の学校を選択した保護者(新小学1年生)の3.9%、保護者(新中学1年生)の3%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、良い制度と思わないと回答している。  
 通学区域外の学校を選択した保護者(新小学1年生)の96.3%、保護者(新中学1年生)の96.1%が、「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、良い制度と思うと回答している。一方、通学区域外の学校を選択した保護者(新小学1年生)の3.7%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、良い制度と思わないと回答している。

②あなたのお子さんが卒業した小学校について満足していますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問19】<1つだけ回答>



【理由】

○「満足している」「ある程度満足している」を選択した保護者(新中学1年生)

- ・先生が親切、丁寧、熱心だったから(153件)
- ・子どもが元気に楽しそうに通っていたから(16件)
- ・家から近くて、通学路も安全だった(11件)
- ・地域と連携できていたから(1件)
- ・設備がよかったから(1件)

○「満足していない」「あまり満足していない」を選択した保護者(新中学1年生)

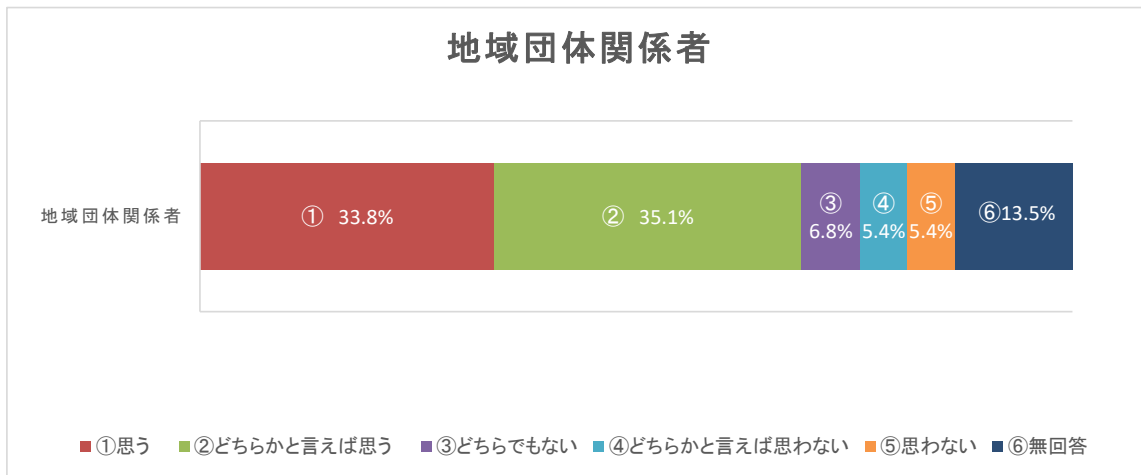
- ・担任との相性が悪かったから(10件)
- ・子どもに積極的に関わってくれなかったから(4件)
- ・いじめへの対応が悪かったから(2件)
- ・学力が低かったから(2件)
- ・友達に恵まれなかったから(1件)
- ・耐震工事がされていないから(1件)

(分析)

通学区域の小学校に就学した児童の保護者の92.9%、通学区域外の小学校(学校選択制による)に就学した児童の保護者の76.9%、通学区域外の小学校(指定校変更による)に就学した保護者の100%が「満足している」または「ある程度満足している」を選択し、子どもが卒業した小学校に満足していると回答している。

### ③学校選択制は、大阪市の子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思いますか。

【地域団体関係者アンケート:問6】<1つだけ回答>



#### 【理由】

○「思う」「どちらかと言えば思う」を選択した地域団体関係者

- ・自由に選択できることはいいことだから（22件）
- ・学校を良くしようという傾向が生まれるから（3件）
- ・自宅から近い学校に通うことができるため（2件）

○「思わない」「どちらかと言えば思わない」を選択した地域団体関係者

- ・地域とのつながりが薄れるから（3件）
- ・地域の学校へ行くべきだと思うから（1件）
- ・平等な教育体制であるべきだから（1件）

#### （分析）

地域団体関係者の68.9%が、「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制は、子どもや保護者、学校教育にとって良い制度だと回答している。

地域団体関係者の10.8%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、学校選択制は、子どもや保護者、学校教育にとって良い制度ではないと回答している。

#### 【視点①総括】

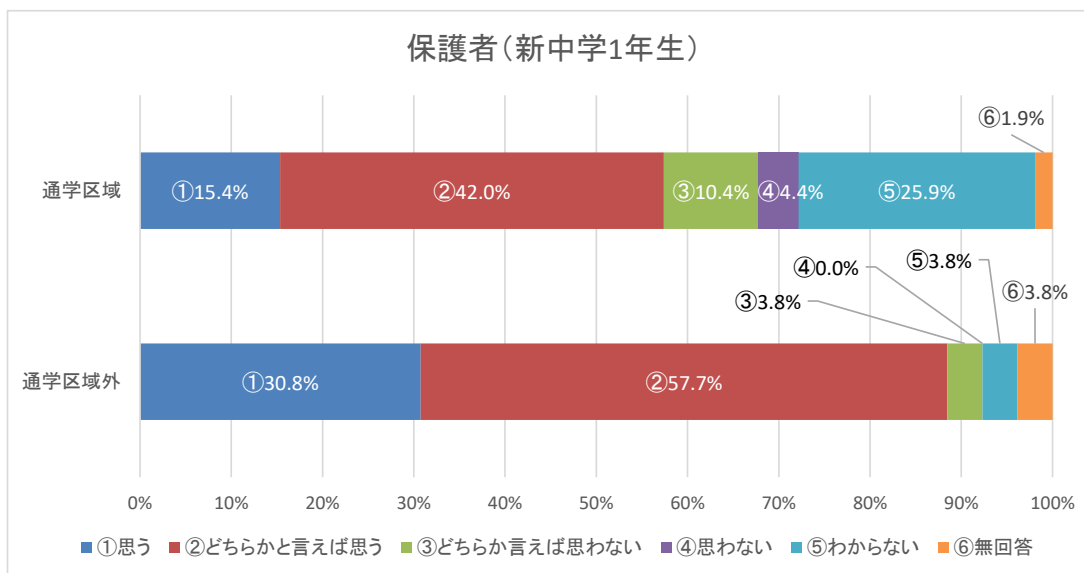
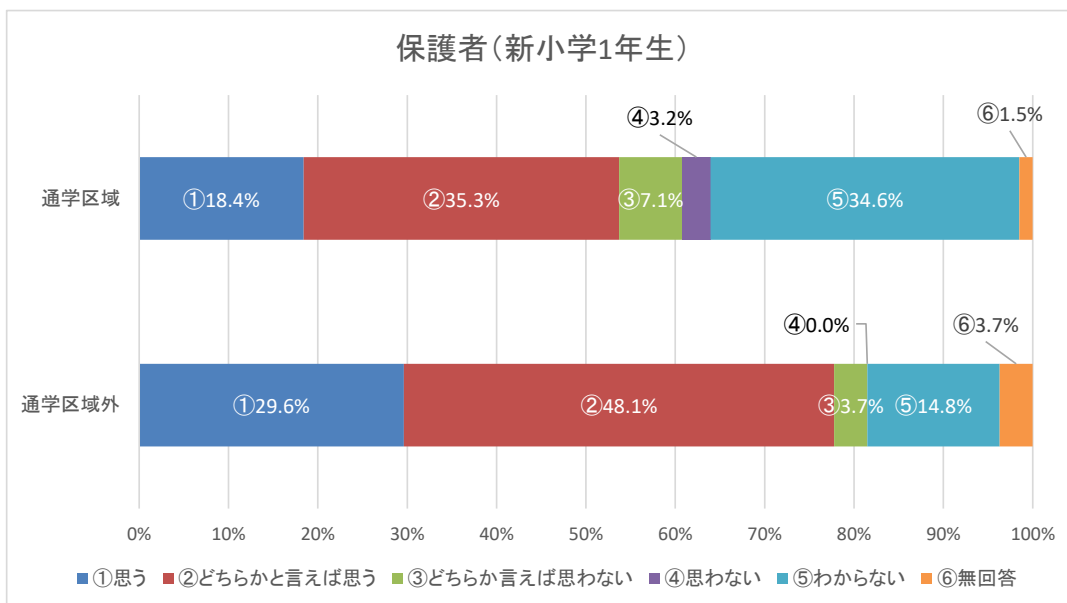
小学校で通学区域の学校を選択した保護者の約77%、通学区域外の学校を選択した保護者の約96%、中学校で通学区域の学校を選択した保護者の約76%、通学区域外の学校を選択した保護者の約96%が良い制度だと思うと回答しており、理由としては、「選択の自由があることはいいこと」「学校の教育方針・部活など、子どもに合った学校を選べる」「校区外でも自宅から近い学校へ通わせられる」が多かった。

また、通学区域の小学校を選択した保護者の約93%、通学区域外の学校を選択した保護者（学校選択制による）の約77%が子どもが卒業した小学校に満足しており、地域団体関係者の約69%から、良い制度だと思うと評価を得ている。

## 【視点②】子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができているか。

### ①学校選択制によって、子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問18、保護者アンケート(新中学1年生):問22】<1つだけ回答>



#### (分析)

通学区域の学校を選択した保護者(新小学1年生)の53.7%、保護者(新中学1年生)の57.4%が、「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると思うと回答している。

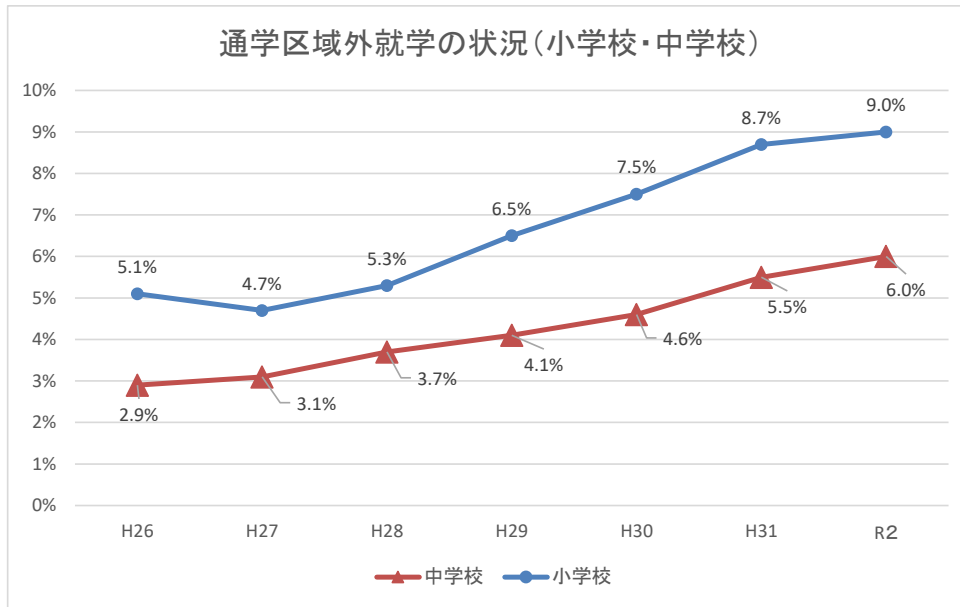
通学区域外の学校を選択した保護者(新小学1年生)の77.7%、保護者(新中学1年生)の88.5%が「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると思うと回答している。



## ②学校選択制による通学区域外の学校への就学の状況

【運用状況データの活用】

大阪市立の小学校・中学校に入学した者のうち、学校選択制で通学区域外の学校に入学した者の割合。



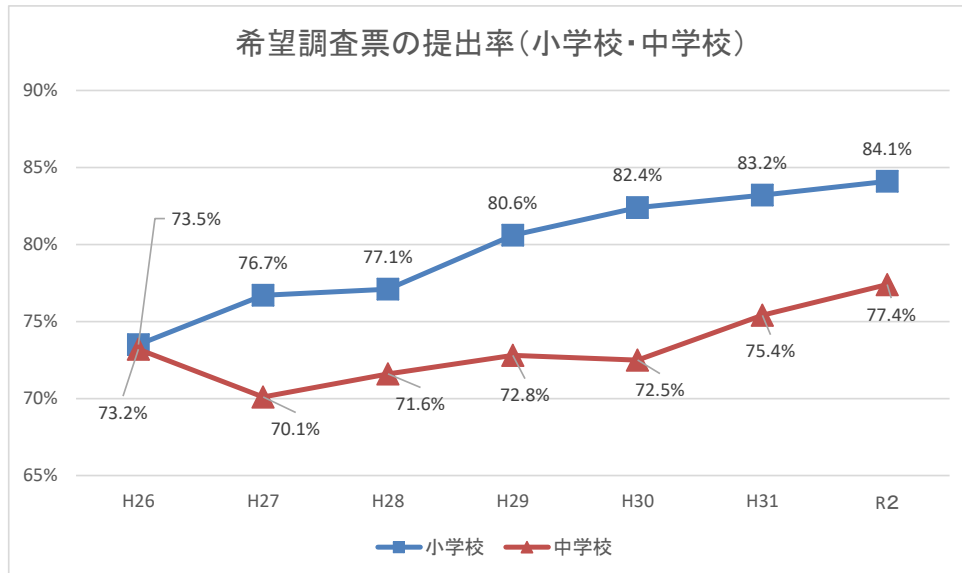
(分析)

平成26年度の制度導入時、通学区域外の学校を選択した割合は、小学校で5.1%、中学校で2.9%だったが、小中ともに毎年上昇傾向に見られ、令和2年度には小学校で9%、中学校で6%となっている。

## ③希望調査票の提出率

【運用状況データの活用】

大阪市立の小学校・中学校に入学した者のうち、学校選択制の希望調査票を提出した者の割合。



(分析)

平成26年度の制度導入時、希望調査票の提出率は、小学校で73.5%、中学校で73.2%だったが、小学校は毎年少しずつ上昇している。中学校は小さい増減を繰り返しながら徐々に上昇しており、令和2年度には小学校で84.1%、中学校で77.4%となっている。

### 【視点②総括】

小学校で通学区域の学校を選択した保護者の約54%、通学区域外の学校を選択した保護者の約78%、中学校で通学区域の学校を選択した保護者の約57%、通学区域外の学校を選択した保護者の約89%が学校選択制によって、子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができていると思うと回答しており、小中ともに通学区域外の学校を選択した保護者の割合が上回った。

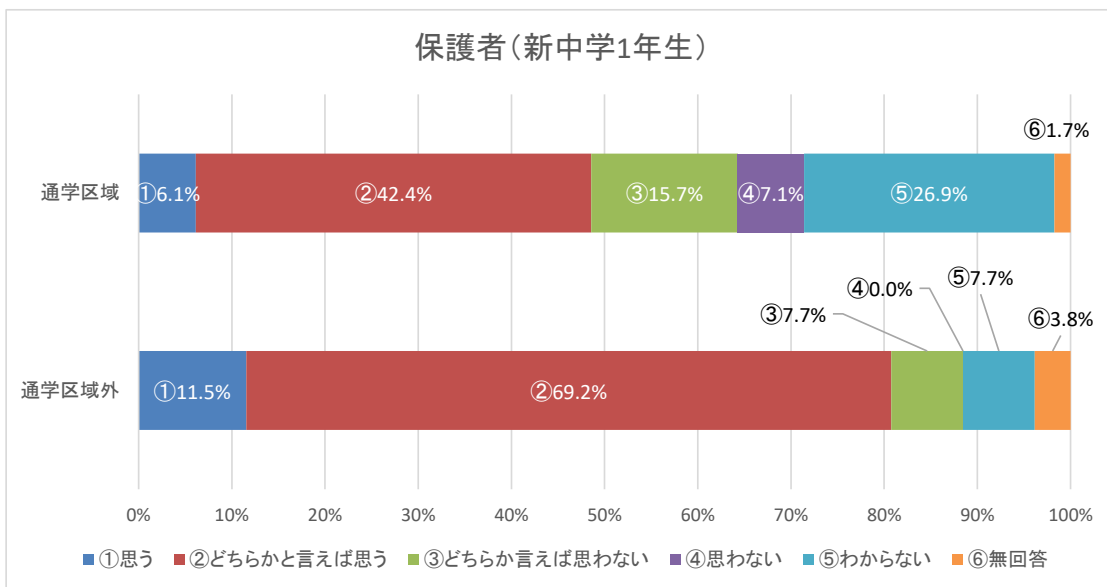
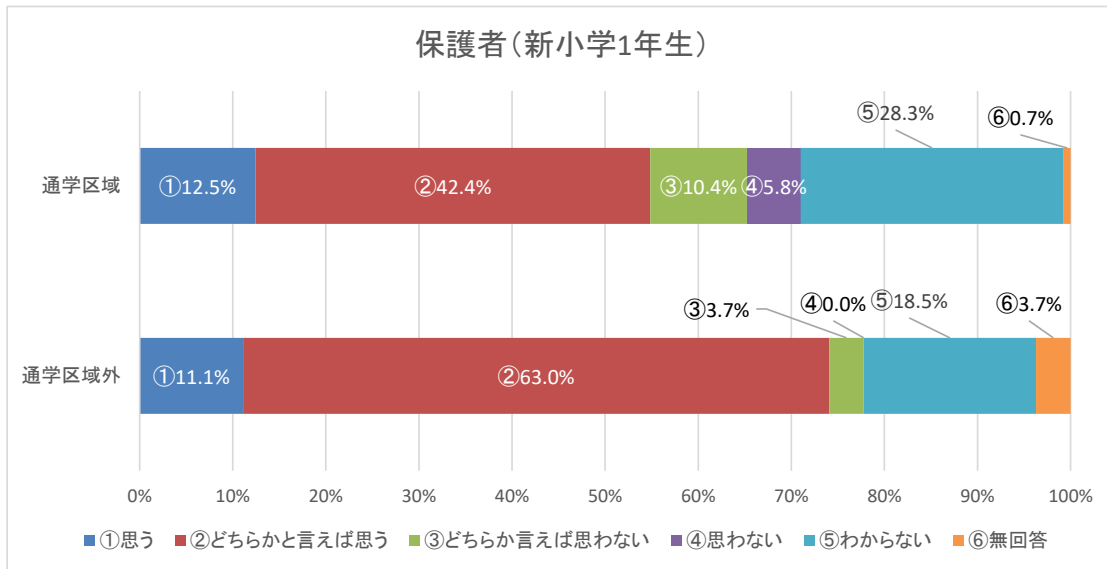
平成26年度の制度導入時、通学区域外の学校を選択した割合は、小学校で約5%、中学校で約3%だったが、令和2年度には小学校で約9%、中学校で約6%と上昇傾向に見られる。

希望調査票の提出率は、制度導入時は小学校で約74%、中学校で約73%だったが、令和2年度には小学校で約84%、中学校で約77%と上昇傾向に見られる。

### 【視点③】子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったか。

①学校選択制によって、子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問19、保護者アンケート(新中学1年生):問23]<1つだけ回答>



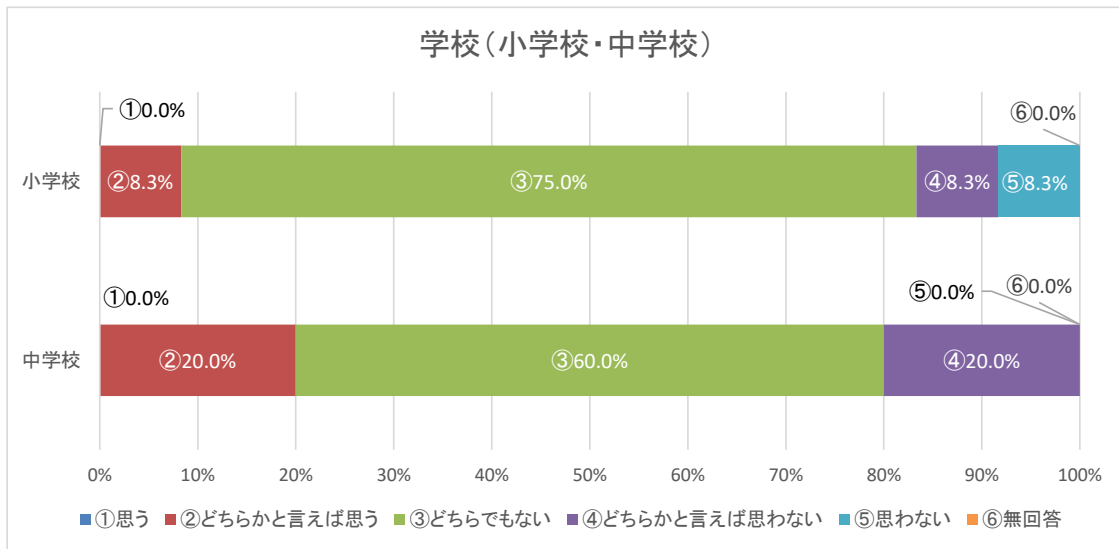
(分析)

通学区域の学校を選択した保護者(新小学1年生)の54.9%、保護者(新中学1年生)48.5%が「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制によって子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思うと回答している。

通学区域外の学校を選択した保護者(新小学1年生)の74.1%、保護者(新中学1年生)80.7%が「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制によって子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思うと回答している。

②学校選択制によって、あなたの学校において子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思いますか。

【学校状況調査:問1】<1つだけ回答>



(分析)

小学校では8.3%、中学校では20%が「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制によって、自分の学校において子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思うと回答している。小学校では75%、中学校では60%が「どちらでもない」を選択している。小学校の16.6%、中学校の20%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、学校選択制によって、自分の学校において子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになっていないと思うと回答している。

【視点③総括】

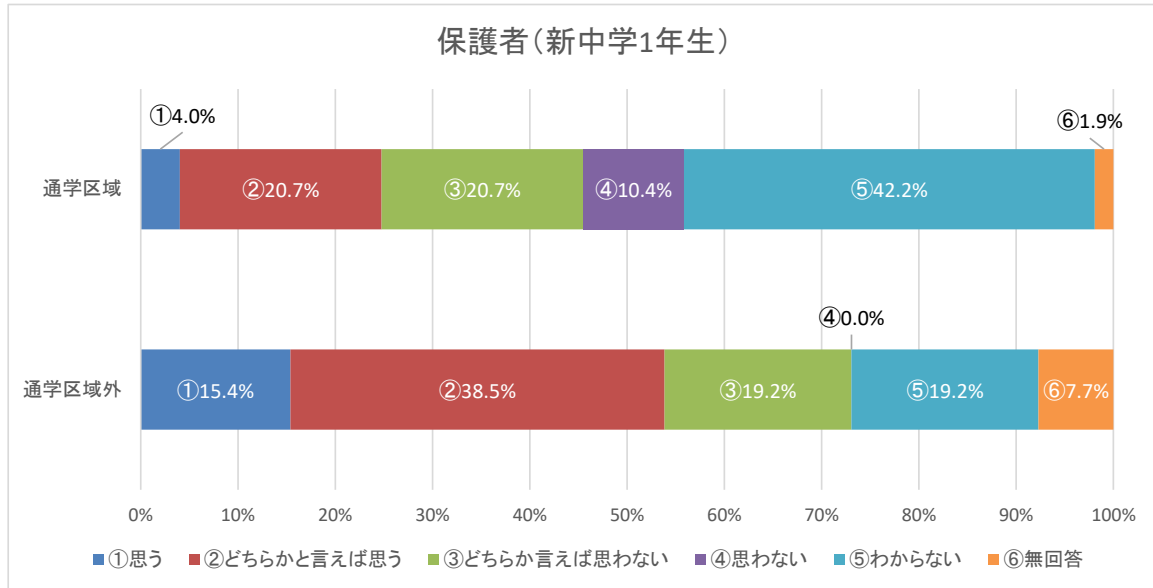
小学校で通学区域の学校を選択した保護者の約55%、通学区域外の学校を選択した保護者の約74%、中学校で通学区域の学校を選択した保護者の約49%、通学区域外の学校を選択した保護者の約81%が、学校選択制によって子どもや保護者が学校教育に関心を持つようになったと回答している。

小学校では約8%、中学校では約20%が学校選択制によって、自分の学校において子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと回答しているが、小学校では約75%、中学校では約60%が「どちらでもない」と回答しており、小中ともに「どちらでもない」が上回った。

## 【視点④】 特色ある学校づくりが進んだか。

### ① 学校選択制によって、特色ある学校づくりが進んだと思いますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問24] <1つだけ回答>

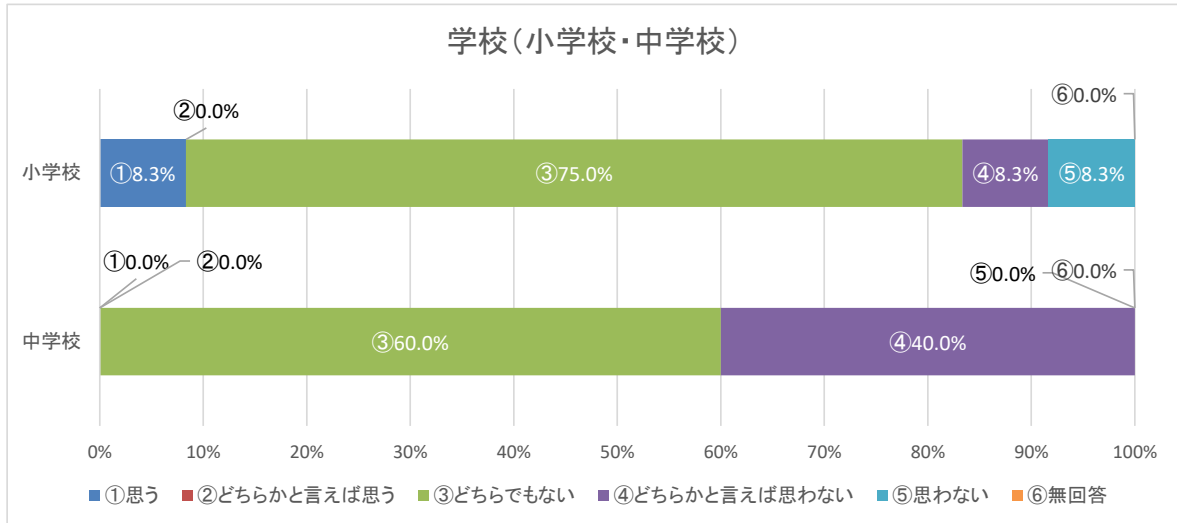


#### (分析)

通学区域の中学校を選択した保護者の24.7%、通学区域外の中学校を選択した保護者の53.9%が「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制によって、特色ある学校づくりが進んだと思うと回答している。通学区域の中学校を選択した保護者の31.1%、通学区域外の中学校を選択した保護者の19.2%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、学校選択によって、特色ある学校づくりが進んでいないと思うと回答している。また、通学区域の中学校を選択した保護者の42.2%、通学区域外の中学校を選択した保護者の19.2%が「わからない」と回答している。

②学校選択制によって、あなたの学校における特色ある学校づくりが進んだと思いますか。

【学校状況調査:問3】<1つだけ回答>



(分析)

小学校では8.3%が「思う」を選択し、学校選択制によって、自分の学校における特色ある学校づくりが進んだと思うと回答しているが、中学校は0%だった。

小学校では75%、中学校では60%が「どちらでもない」を選択している。また、小学校では16.6%、中学校では40%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、学校選択制によって、自分の学校における特色ある学校づくりが進んでいないと思うと回答している。

【視点④総括】

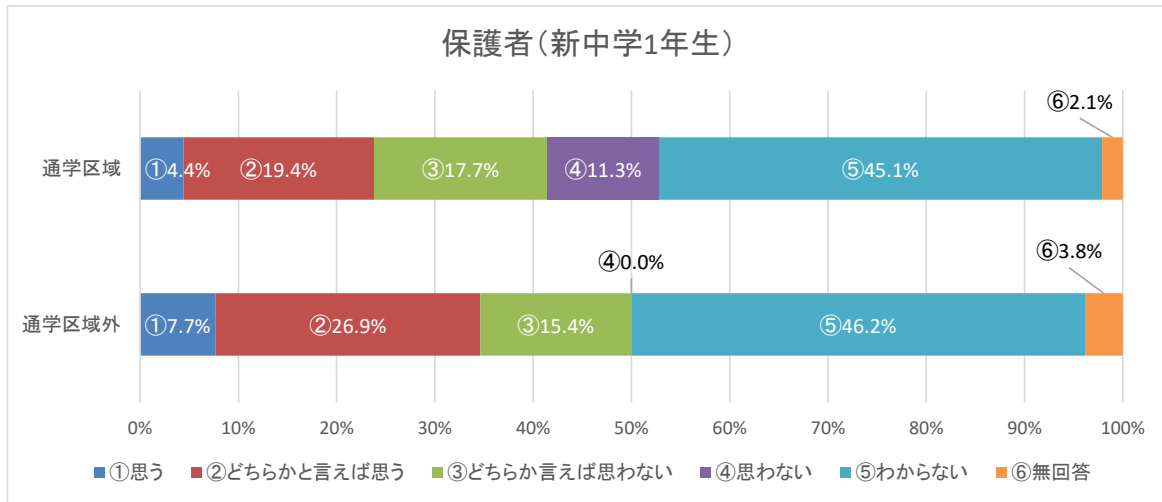
通学区域の中学校を選択した保護者の約25%、通学区域外の中学校を選択した保護者の約54%が学校選択によって、特色ある学校づくりが進んだと回答しているが、通学区域の中学校を選択した保護者の約31%、通学区域外の中学校を選択した保護者の約19%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」と回答している。また、通学区域の中学校を選択した保護者の約42%、通学区域外の中学校を選択した保護者の約19%が「わからない」と回答している。

小学校では約8%が学校選択により、自分の学校における特色ある学校づくりが進んだと思うと回答しているが、中学校では0%だった。小学校では約17%が、中学校では約40%が自分の学校における特色ある学校づくりが進んでいないと思うと回答し、小学校では約75%が、中学校では約60%が「どちらでもない」と回答している。

## 【視点⑤】開かれた学校づくりが進んだか。

①学校選択制によって、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み（授業参観、学校公開など）が充実してきたと思いますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問25】<1つだけ回答>



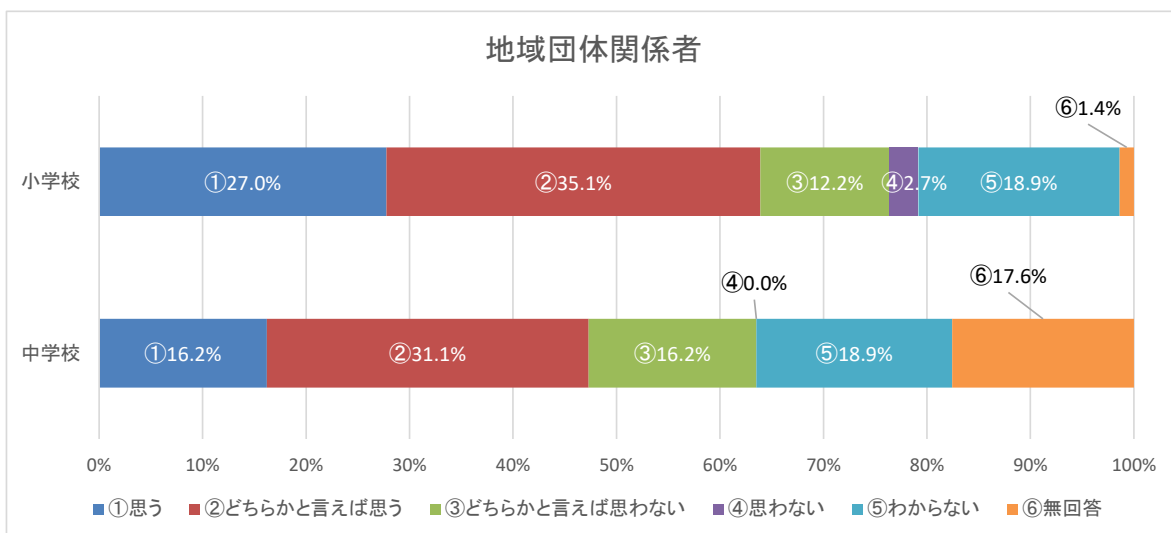
(分析)

通学区域の中学校を選択した保護者の23.8%、通学区域外の中学校を選択した保護者の34.6%が「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制によって、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実してきたと思うと回答している。

通学区域の中学校を選択した保護者の29%、通学区域外の学校を選択した保護者の15.4%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、学校選択制によって、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みは充実してきていないと思うと回答している。また、通学区域の学校を選択した保護者の45.1%、通学区域外の学校を選択した保護者の46.2%が「わからない」と回答している。

②学校選択制によって、あなたの地域の学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み（授業参観、学校公開等）が充実してきたと思いますか。

【地域団体関係者:問1】<1つだけ回答>



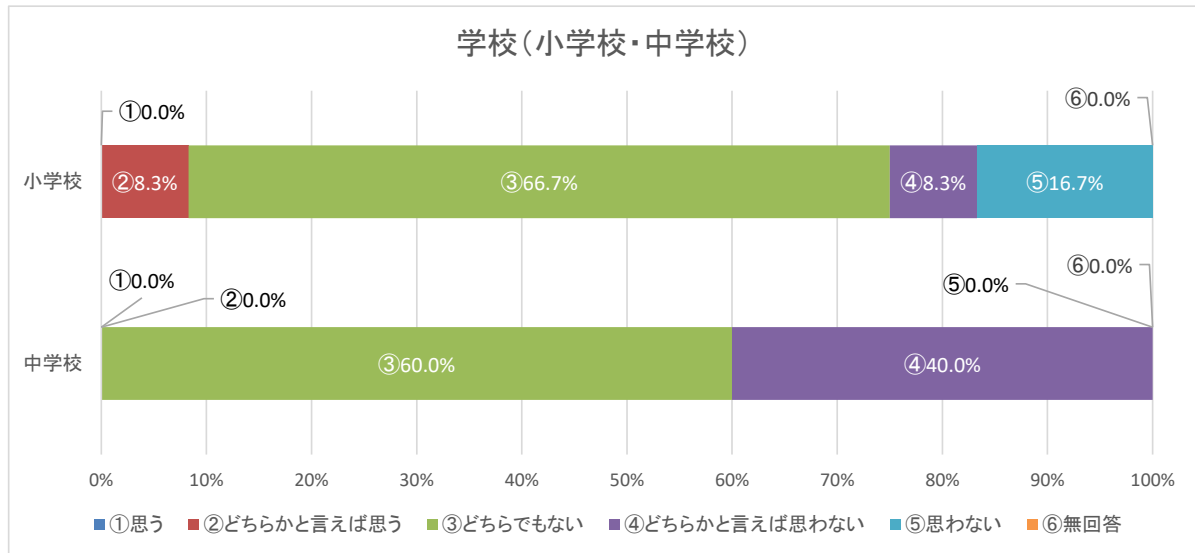
(分析)

小学校の地域団体関係者の62.1%、中学校の地域団体関係者の47.3%が「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制によって、自分の地域の学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実してきたと思うと回答している。

小学校の地域団体関係者の14.9%、中学校の地域団体関係者の16.2%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、学校選択制によって、自分の地域の学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実してきていないと思うと回答している。また、小中の地域団体関係者のそれぞれ18.9%が「わからない」と回答している。

③学校選択制によって、あなたの学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み（授業参観、学校公開等）が充実してきたと思いますか。

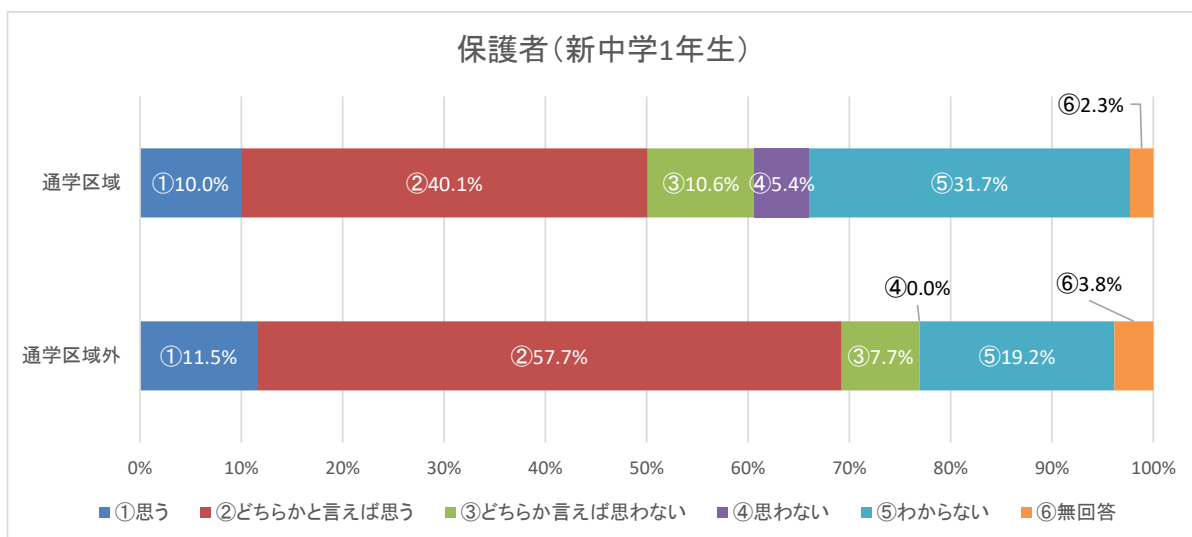
【学校状況調査：問5】<1つだけ回答>



（分析）  
 小学校の8.3%が「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制によって自分の学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実してきたと思うと回答しているが、中学校は0%だった。  
 小学校の25%、中学校の40%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、学校選択制によって自分の学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みは充実していないと思うと回答している。また小学校の66.7%、中学校の60%が「どちらでもない」と回答している。

④学校選択制によって、学校における情報発信（学校だより、ホームページの更新など）が充実してきたと思いますか。

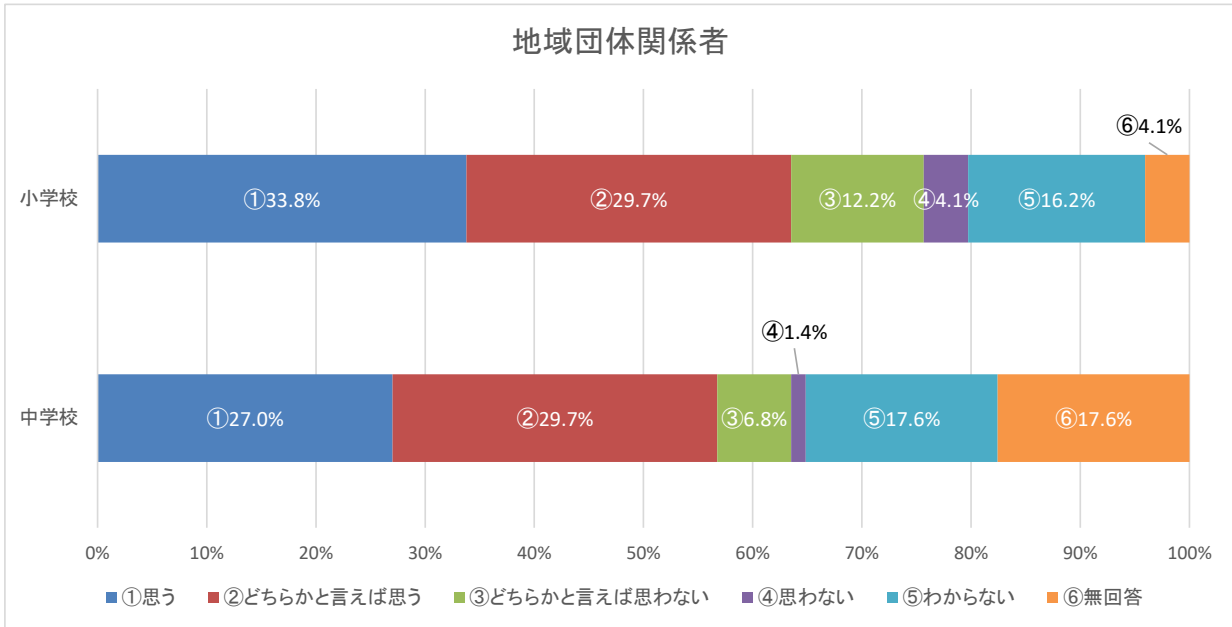
【保護者アンケート（新中学1年生）：問26】<1つだけ回答>



（分析）  
 通学区域の中学校を選択した保護者の50.1%、通学区域外の中学校を選択した保護者の69.2%が「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制によって、学校における情報発信が充実してきたと思うと回答している。  
 通学区域の中学校を選択した保護者の16%、通学区域外の中学校を選択した保護者の7.7%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、学校選択制によって、学校における情報発信が充実していないと思うと回答している。また通学区域の中学校を選択した保護者の31.7%、通学区域外の中学校を選択した保護者の19.2%が「わからない」と回答している。

⑤学校選択制によって、あなたの地域の学校における情報発信(学校だより、ホームページの更新など)が充実してきたと思いますか。

【地域団体関係者:問2】<1つだけ回答>

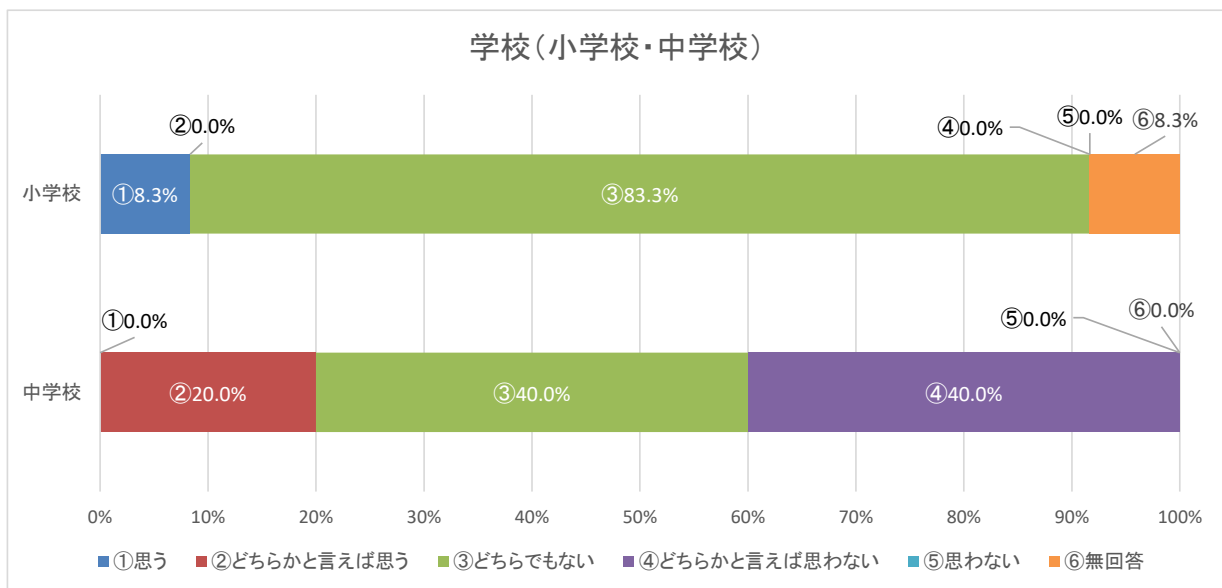


(分析)

小学校の地域団体関係者の63.5%、中学校の地域団体関係者の56.7%が「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制によって、自分の地域の学校における情報発信が充実してきたと思うと回答している。小学校の地域団体関係者の16.3%、中学校の地域団体関係者の8.2%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」を選択し、学校選択制によって、自分の地域の学校における情報発信が充実してきていないと思うと回答している。また、小学校の地域団体関係者の16.2%、中学校の地域団体関係者の17.6%が「わからない」と回答している。

⑥学校選択制によって、あなたの学校における情報発信(学校だより、ホームページの更新など)が充実してきたと思いますか。

【学校状況調査:問7】<1つだけ回答>



(分析)

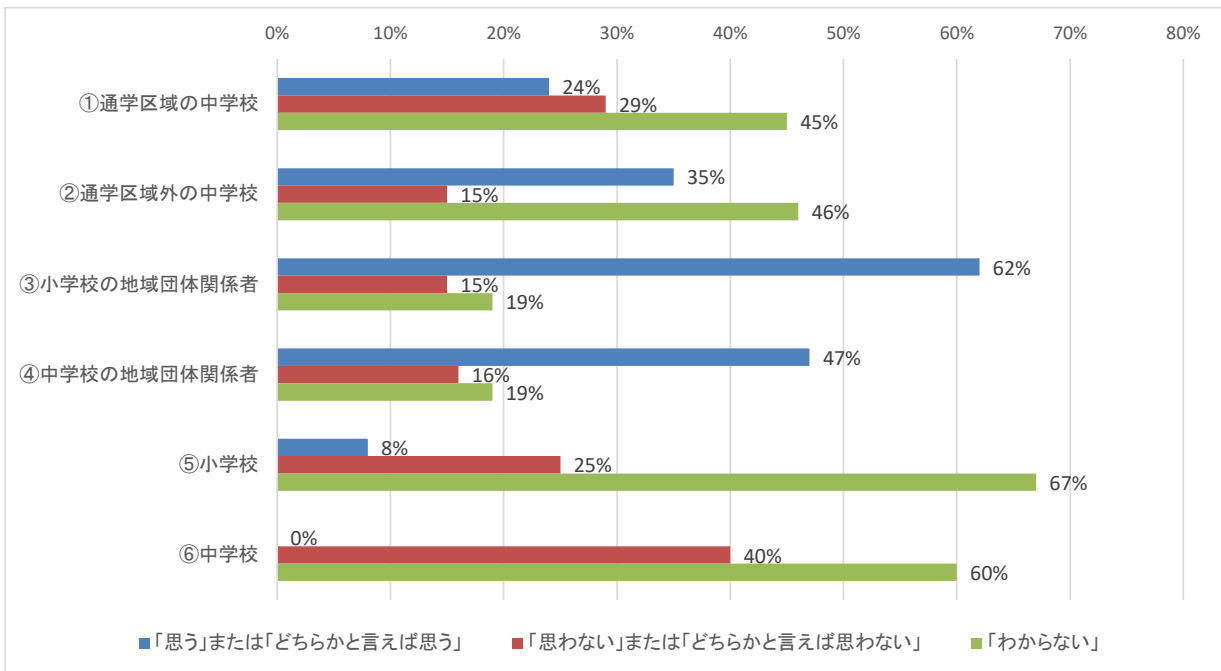
小学校の8.3%、中学校の20%が「思う」または「どちらかと言えば思う」を選択し、学校選択制によって、自分の学校における情報発信が充実してきたと思うと回答している。中学校の40%が「どちらかと言えば思わない」を選択し、学校選択制によって、自分の学校における情報発信が充実してきていないと思うと回答している。また、小学校の83.3%、中学校の40%が「どちらでもない」と回答している。



## 【視点⑤総括表】

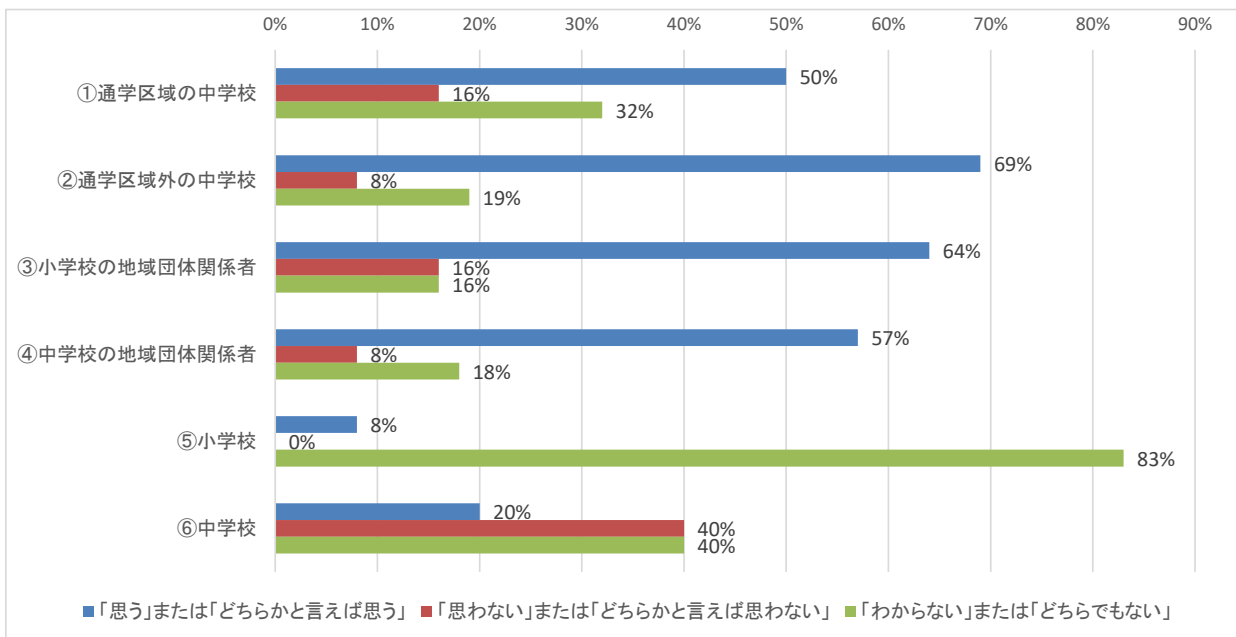
①～③ 学校選択制によって、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組み（授業参観、学校公開など）が充実してきたと思いますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問25】【地域団体関係者:問1】【学校状況調査:問5】<1つだけ回答>



④学校選択制によって、学校における情報発信（学校だより、ホームページの更新など）が充実してきたと思いますか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問26】【地域団体関係者:問2】【学校状況調査:問7】<1つだけ回答>



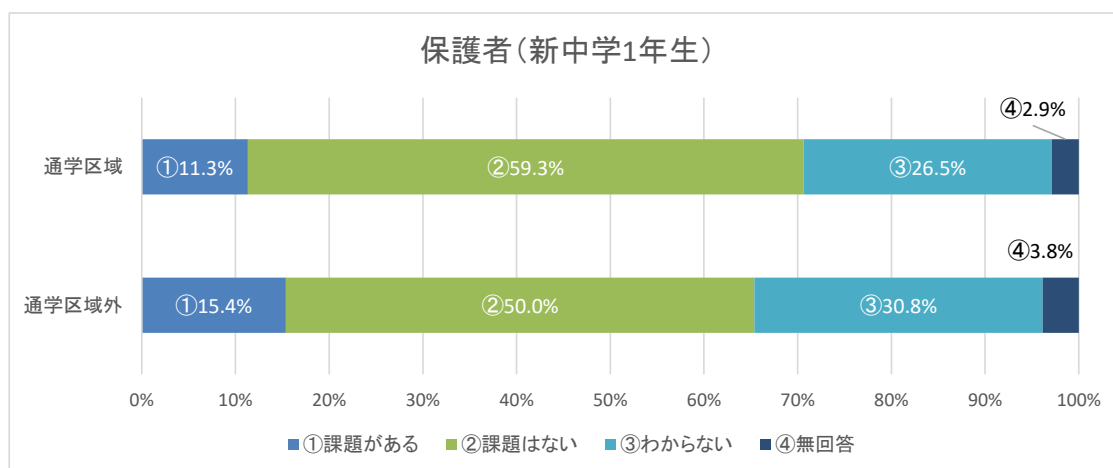
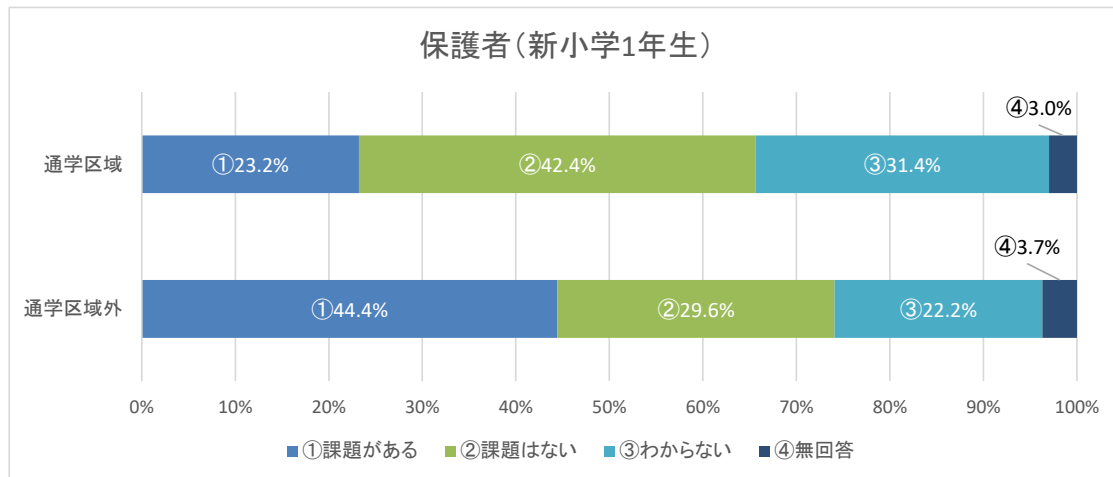
### 【視点⑤総括】

小学校・中学校の地域団体関係者は、学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実してきたと思うと回答した割合が高く、通学区・通学区外の中学校を選択した保護者、小学校、中学校ともに「わからない」または「どちらでもない」と回答した割合が高かった。

## 【視点⑥】 児童生徒の通学の安全に課題が生じていないか

### ①あなたのお子さんの通学の安全に課題が生じていると思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問15、保護者アンケート(新中学1年生):問15】<1つだけ回答>



#### 【具体的な課題及び改善のアイデア】

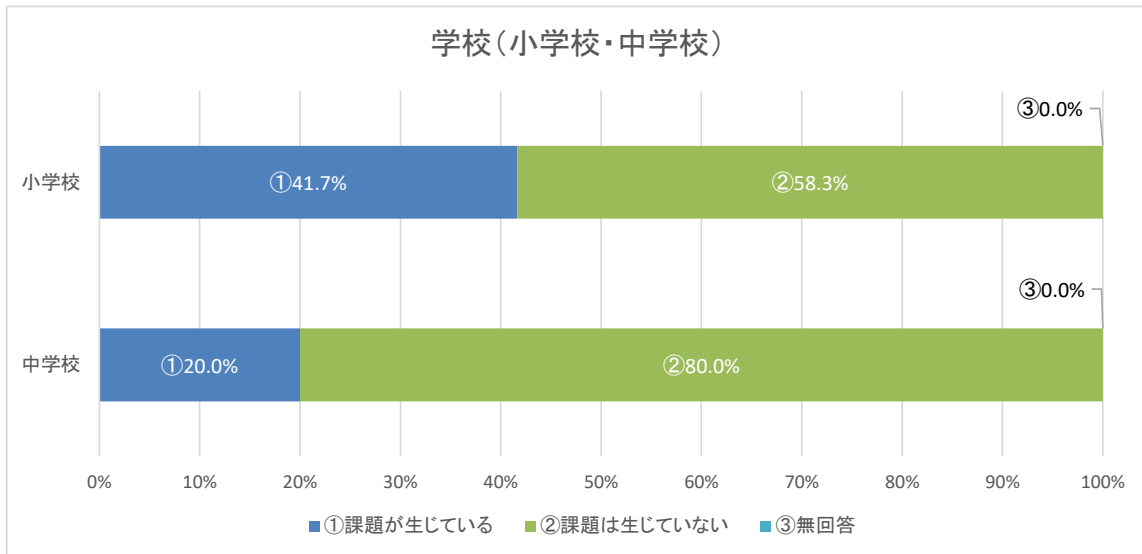
- 「課題がある」保護者(新小学1年生)
  - ・交通量が多く、車や自転車がスピードを出している(39件)
  - ・歩道や信号、ガードレールがない(33件)
  - ・歩道が狭く、車のすぐ横を歩かないといけない(23件)
  - ・人通りが少なく、不審者が心配(10件)
  - ・路上駐車が多い(4件)
- 「課題がある」保護者(新中学1年生)
  - ・歩道が狭く、車のすぐ横を歩かないといけない(21件)
  - ・歩道や信号、ガードレールがない(12件)
  - ・人通りが少なく、不審者が心配(10件)
  - ・交通量が多く、車や自転車がスピードを出している(3件)

#### (分析)

通学区域の学校を選択した保護者(新小学1年生)の23.2%、保護者(新中学1年生)の11.3%、通学区域外の学校を選択した保護者(新小学1年生)の44.4%、保護者(新中学1年生)の15.4%は、通学の安全に「課題がある」と回答している。  
 通学区域の学校を選択した保護者(新小学1年生)の42.4%、保護者(新中学1年生)の59.3%、通学区域外の学校を選択した保護者(新小学1年生)の29.6%、保護者(新中学1年生)の50%は、通学の安全に「課題がない」と回答している。

②あなたの学校において、学校選択制により、通学の安全に課題が生じていますか。

【学校状況調査：問9】 <1つだけ回答>



【具体的な課題事例】

- ・大きな幹線道路を渡ること（3件）
- ・校区外から通う児童について登校班の編成に課題がある（3件）

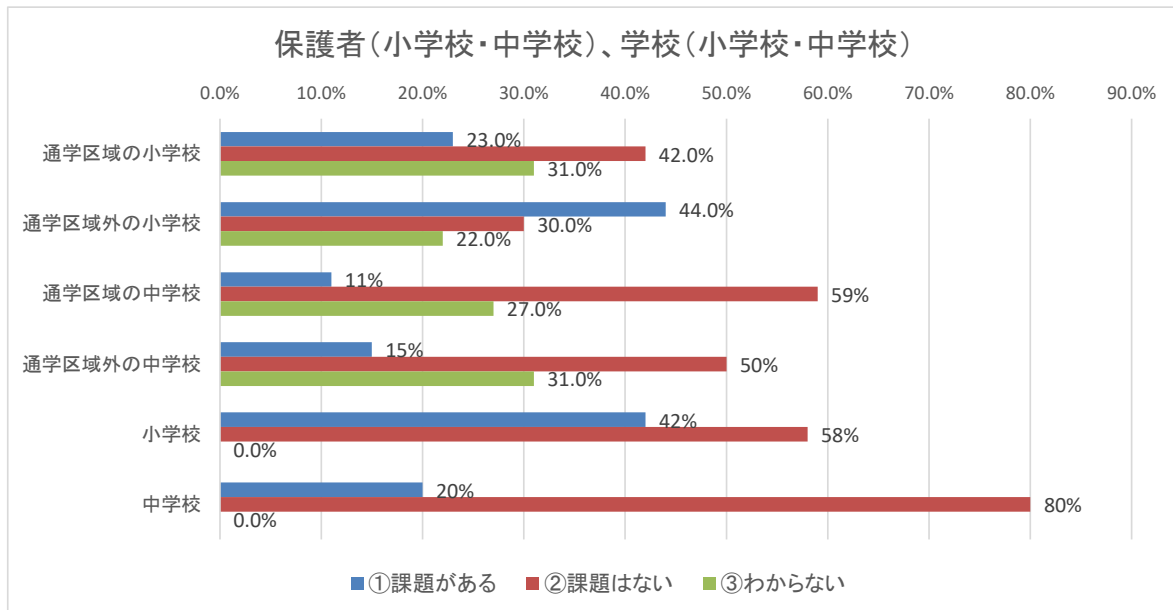
(分析)

小学校の41.7%、中学校の20%が通学の安全に「課題が生じている」と回答しているが、小学校の58.3%、中学校の80%が通学の安全に「課題は生じていない」と回答している。

【視点⑥総括表】

①あなたのお子さんの通学の安全に課題が生じていると思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生)：問15】【保護者アンケート(新中学1年生)：問15】【学校状況調査：問9】<1つだけ回答>



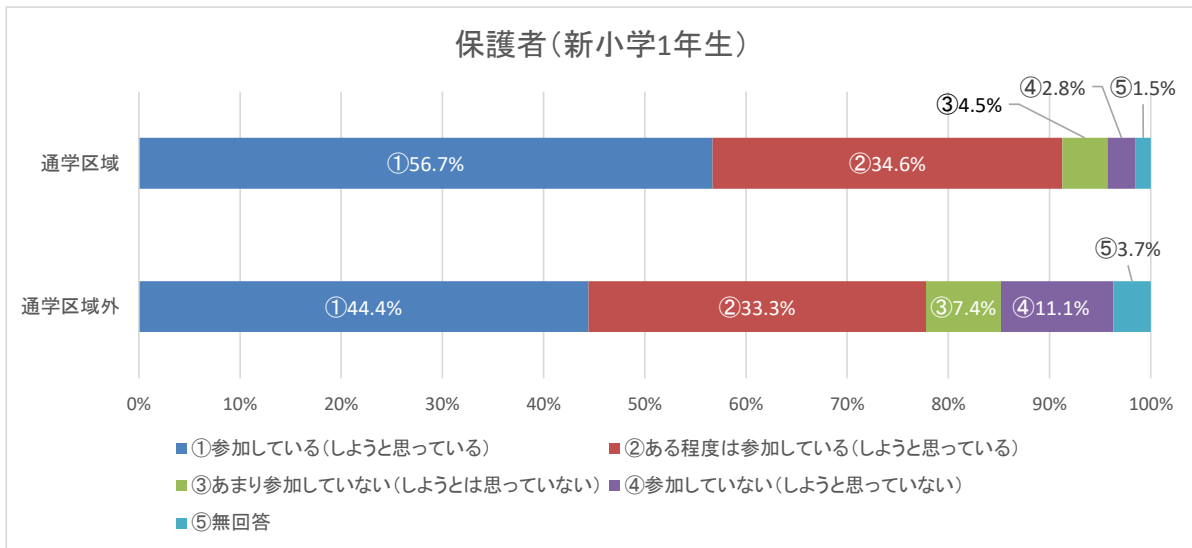
【視点⑥総括】

通学区域の小中学校を選択した保護者より、通学区域外の小中学校を選択した保護者の方が、通学の安全に「課題がある」と回答した保護者が多かった。また、小中ともに、通学の安全に「課題は生じていない」と回答した学校が多かった。

## 【視点⑦】 学校と地域、保護者の連携に課題が生じていないか

①あなたは、お子さんが通っている学校の行事（運動会、授業参観など）や、PTAの活動（親子レクリエーション、登下校の見守りなど）に参加していますか、又は今後参加しようと思っていますか。

【保護者アンケート（新小学1年生）：問13、保護者アンケート（新中学1年生）：問13】<1つだけ回答>

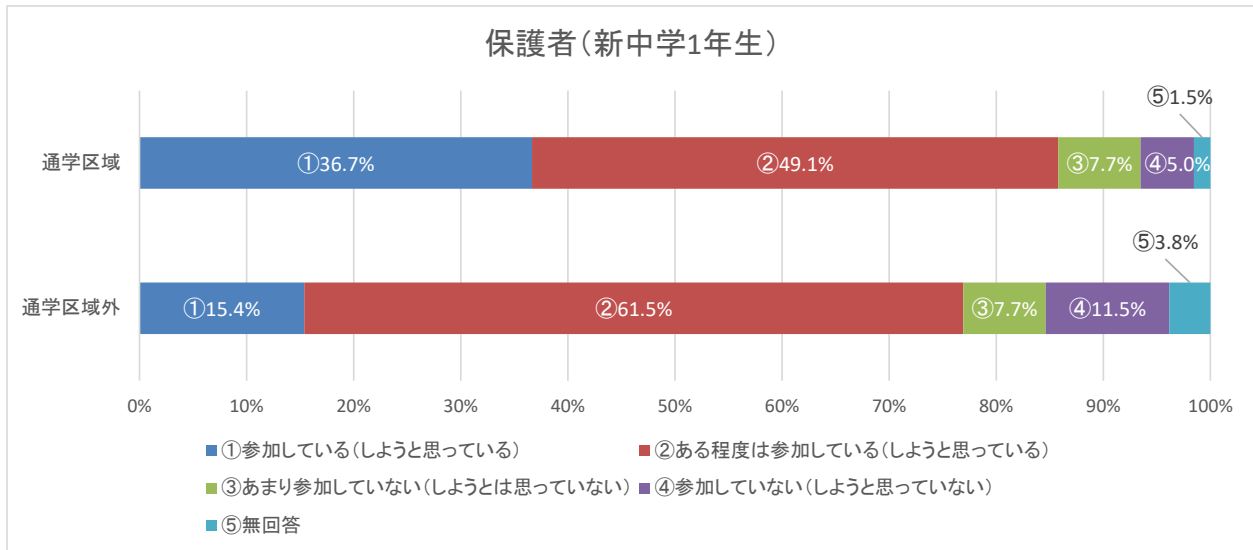


### 【理由】

- 「参加している」「ある程度は参加している」保護者（新小学1年生）
  - ・学校での子どもの様子やまわりの友達、学校の雰囲気を見たいから（83件）
  - ・仕事の都合が合えばできる限り参加したい（17件）
  - ・地域や学校のコミュニティに貢献したい（2件）
- 「参加していない」「あまり参加していない」保護者（新小学1年生）
  - ・仕事で時間が取れないから（13件）
  - ・小さい子がいるため参加できない（2件）
  - ・PTAの活動に参加する時間がないから（2件）
  - ・新型コロナウイルス感染症が心配だから（1件）

### （分析）

通学区域の学校を選択した保護者の91.3%、通学区域外の学校を選択した保護者の77.7%が、学校の行事やPTA活動に「参加している」または「ある程度は参加している」と回答している。  
 通学区域の学校を選択した保護者の7.3%、通学区域外の学校を選択した保護者の18.5%が、学校の行事やPTA活動に「参加していない」「あまり参加していない」と回答している。



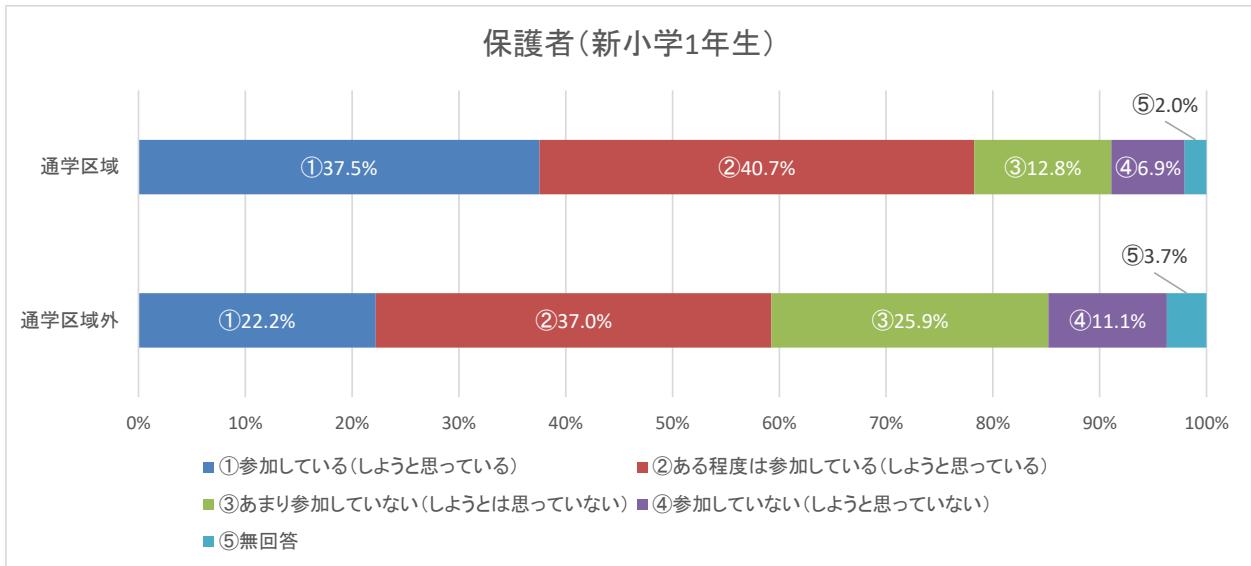
**【理由】**

- 「参加している」「ある程度は参加している」保護者（新中学1年生）
  - ・学校での子どもの様子やまわりの友達、学校の雰囲気を見たいから（75件）
  - ・仕事の都合が合えばできる限り参加したい（12件）
  - ・運動会や授業参観は参加したい（6件）
  - ・学校とつながりができるから（1件）
  - ・地域交流を大切にしたいから（1件）
  
- 「参加していない」「あまり参加していない」保護者（新中学1年生）
  - ・仕事で時間が取れないから（18件）
  - ・行事がないから（7件）
  - ・子どもが来なくてよいと言っているから（3件）

**（分析）**  
 通学区域の学校を選択した保護者の85.8%、通学区域外の学校を選択した保護者の76.9%が、学校の行事やPTA活動に「参加している」または「ある程度は参加している」と回答している。  
 通学区域の学校を選択した保護者の12.7%、通学区域外の学校を選択した保護者の19.2%が、学校の行事やPTA活動に「参加していない」または「あまり参加していない」と回答している。

②あなたのお子さんは、住んでいる地域の行事(祭り等)に参加していますか、又は今後参加しようと思っていますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問14、保護者アンケート(新中学1年生):問14】<1つだけ回答>



【理由】

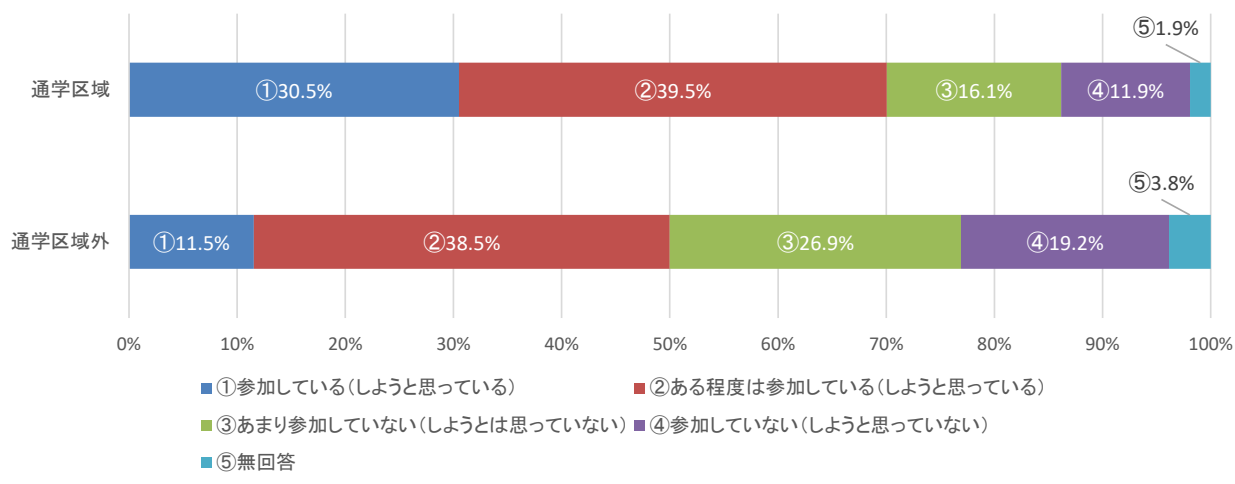
- 「参加している」「ある程度は参加している」保護者(新小学1年生)
  - ・子どもが楽しみにしているから(52件)
  - ・地域や保護者の方々との交流を深めたいから(20件)
  - ・子どもに様々な経験をさせてあげたいから(7件)
  - ・友達が行くから(4件)
  
- 「参加していない」「あまり参加していない」保護者(新小学1年生)
  - ・地域の行事の情報が入ってこないから(10件)
  - ・地域の行事に興味がないから(6件)
  - ・仕事で時間が取れないから(6件)
  - ・新型コロナウイルス感染症で中止のため(4件)
  - ・子どもが地域の行事に興味がないから(2件)
  - ・小さい子がいるから参加できない(2件)

(分析)

通学区域の学校を選択した保護者の78.2%、通学区域外の学校を選択した保護者の59.2%が住んでいる地域の行事に「参加している」または「ある程度は参加している」と回答している。

通学区域の学校を選択した保護者の19.7%、通学区域外の学校を選択した保護者の37%が住んでいる地域の行事に「参加していない」または「あまり参加していない」と回答している。

## 保護者（新中学1年生）



### 【理由】

#### ○「参加している」「ある程度は参加している」保護者（新中学1年生）

- ・子どもが楽しみにしているから（26件）
- ・友達が行くから（23件）
- ・地域や保護者の方々との交流を深めたいから（15件）
- ・行事が好きだから（10件）
- ・子どもに様々な経験をさせてあげたいから（5件）

#### ○「参加していない」「あまり参加していない」保護者（新中学1年生）

- ・子どもが地域の行事に興味がないから（21件）
- ・勉強や習い事を優先させたから（12件）
- ・地域の行事の情報が入ってこないから（9件）
- ・新型コロナウイルス感染症で中止のため（5件）
- ・仕事で時間が取れないから（4件）

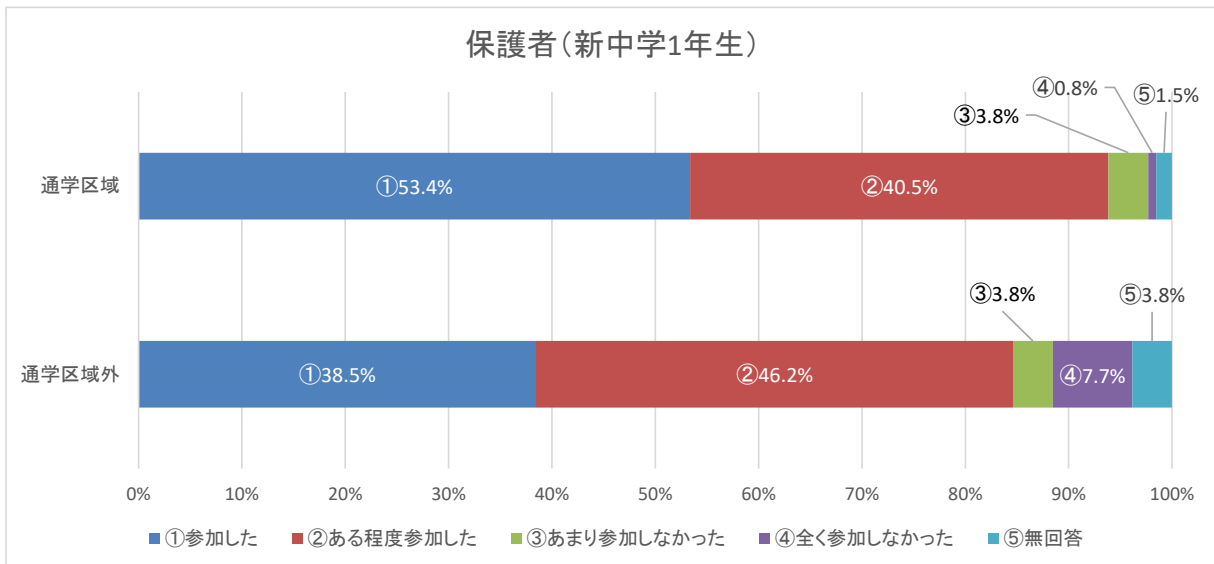
### （分析）

通学区の学校を選択した保護者の70%、通学区外の学校を選択した保護者の50%が住んでいる地域の行事に「参加している」または「ある程度は参加している」と回答している。

通学区の学校を選択した保護者の28%、通学区外の学校を選択した保護者の46.1%が住んでいる地域の行事に「参加していない」または「あまり参加していない」と回答している。

③あなたは、お子さんが卒業した小学校(運動会、授業参観など)の行事や、PTAの活動(親子レクリエーション、登下校の見守りなど)にどの程度参加しましたか。

【保護者アンケート(新中学1年生):問20】<1つだけ回答>



【理由】

- 「参加した」「ある程度参加した」保護者
  - ・子どもの成長や様子を見たかったから(140件)
  - ・PTAの役員だったから(42件)
  - ・子どもや学校のためになるから(18件)
  - ・親の義務だから(17件)
  - ・子どもが喜ぶから(6件)
- 「全く参加しなかった」「あまり参加しなかった」保護者
  - ・仕事で時間が取れなかったから(6件)
  - ・興味がなかったから(4件)
  - ・新型コロナウイルス感染症のため行事がなかったから(3件)

(分析)

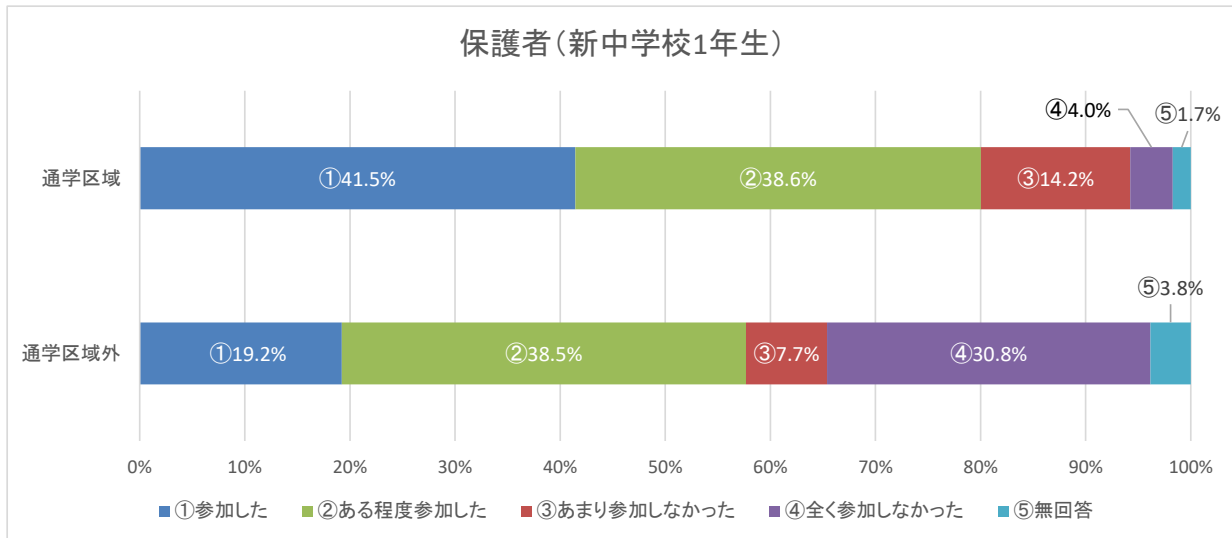
通学区の学校を選択した保護者の93.9%、通学区外の学校を選択した保護者の84.7%が住んでいる地域の行事に「参加した」または「ある程度参加した」と回答している。

通学区の学校を選択した保護者の4.6%、通学区外の学校を選択した保護者の11.5%が住んでいる地域の行事に「全く参加しなかった」または「あまり参加しなかった」と回答している。



④あなたのお子さんは、小学校のときに住んでいる地域の行事(祭り等)に参加していましたか

【保護者アンケート(新中学校1年生):問21】<1つだけ回答>



【理由】

- 「参加した」「ある程度参加した」保護者
  - ・子どもが楽しみにしていたから(65件)
  - ・友達が行くから(54件)
  - ・お祭りが好きだから(17件)
  - ・子ども会に参加していたから(16件)
  - ・地域の交流のため(15件)
  - ・子どもに様々な経験をさせてあげたいから(4件)
- 「全く参加しなかった」「あまり参加しなかった」保護者
  - ・子どもが地域の行事に興味がないから(15件)
  - ・予定が合わなかったから(13件)
  - ・地域の行事を把握していないから(9件)
  - ・仕事で時間が取れなかったから(7件)
  - ・勉強や習い事を優先させたから(2件)

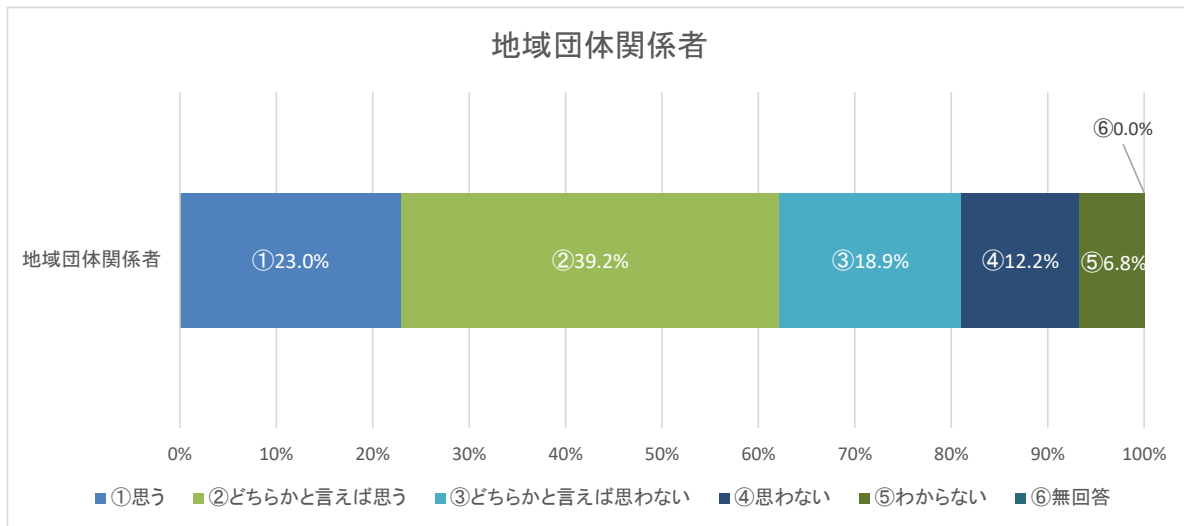
(分析)

通学区域の学校を選択した保護者の80.1%、通学区域外の学校を選択した保護者の57.7%が住んでいる地域の行事に「参加した」または「ある程度参加した」と回答している。

通学区域の学校を選択した保護者の18.2%、通学区域外の学校を選択した保護者の38.5%が住んでいる地域の行事に「全く参加しなかった」または「あまり参加しなかった」と回答している。

⑤「地域の繋がりが薄くなっている」という意見がありますが、あなたはどのように思いますか。

【地域団体関係者アンケート：問3】 <1つだけ回答>



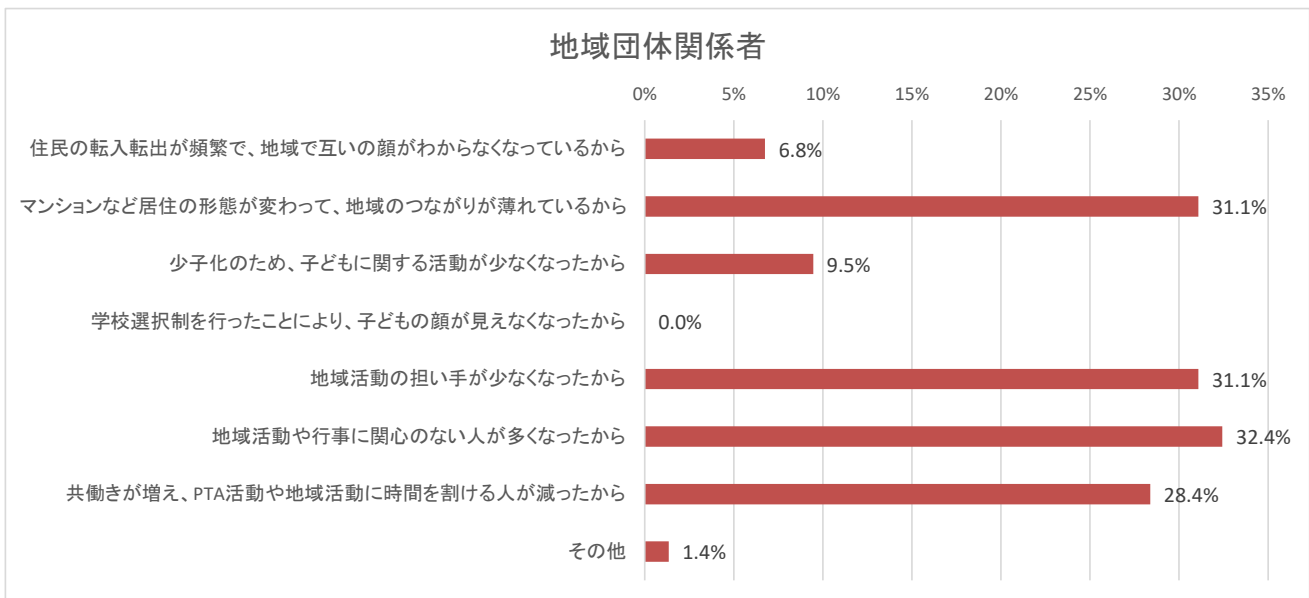
(分析)

地域団体関係者の62.2%が地域の繋がりが薄くなっていると「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答しており、31.1%が「思わない」または「どちらかと言えば思わない」と回答している。

⑥上記の設問で「思う」「どちらかと言えば思う」とお答えいただいた方にお尋ねします。

それは何が原因だと思いますか。

【地域団体関係者アンケート：問4】 <3つまで回答可>



【その他】

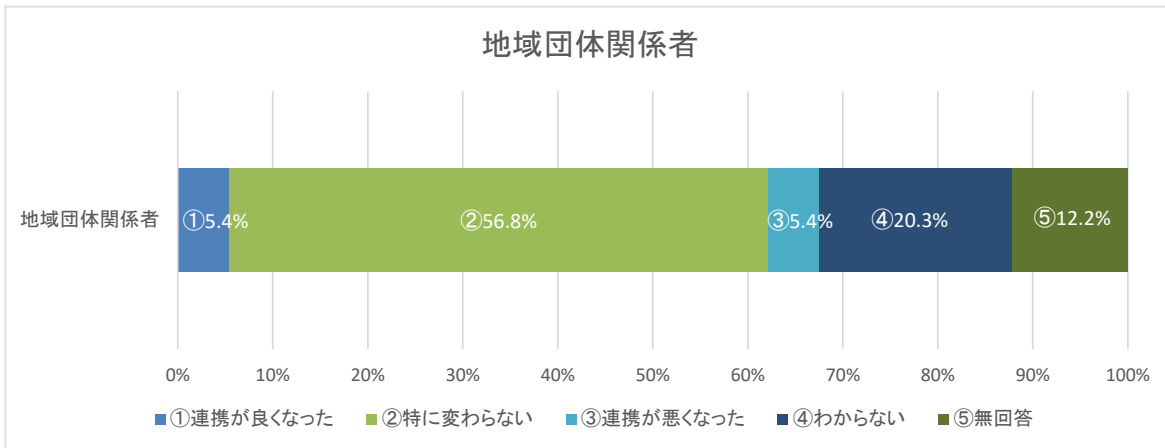
- ・緊急事態宣言等によるイベント等コミュニティ活動の中止

(分析)

地域の繋がりが薄くなっている理由として、「地域活動や行事に関心のない人が多くなったから」(32.4%)、「マンションなど居住の形態が変わって、地域のつながりが薄れているから」(31.1%)、「地域活動の担い手が少なくなったから」(31.1%)、「共働きが増え、PTA活動や地域活動に時間を割ける人が減ったから」(28.4%)などが多かった。

⑦学校選択制の導入により、あなたの地域における学校と地域の連携にどのような影響がありましたか。

【地域団体関係者アンケート:問5】<1つだけ回答>



【そのように考えた具体的な出来事など】

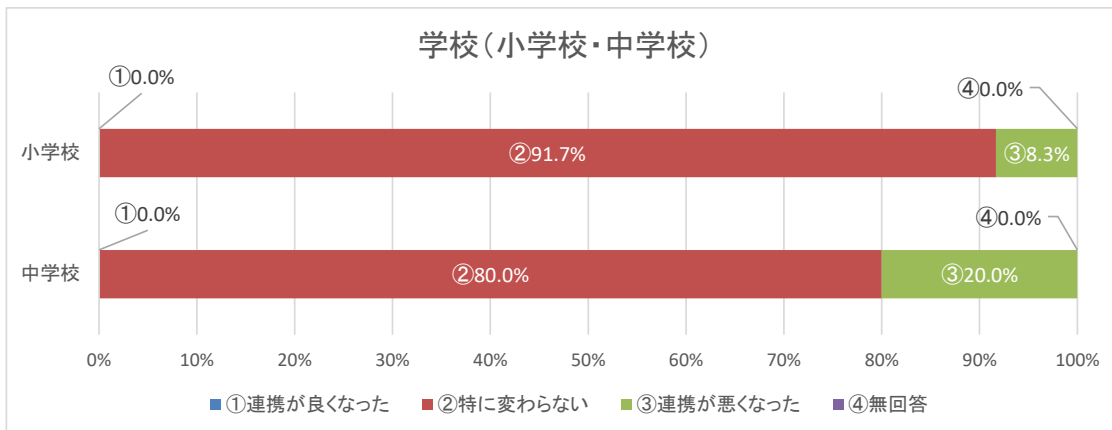
- ・学校と地域の連携は変わっていないと思う
- ・連携が悪くなったということは見うけられない

(分析)

学校選択制の導入により、地域における学校と地域の連携の影響について、地域団体関係者の56.8%が「特に変わらない」、20.3%が「わからない」と回答している。

⑧学校選択制の導入により、あなたの学校における学校と地域、保護者の連携にどのような影響がありましたか。

【学校状況調査:問11】<1つだけ回答>



【そのように考えた具体的な出来事など】

- 「特に変わらない」(小学校)
  - ・学校選択制で通う児童(各町会に所属していない)にも、地域活動協議会からの算数セットのお祝いしてもらえるから。
- 「特に変わらない」(中学校)
  - ・選択制を利用する人数が極めて少ないので、影響はないと考えているから。
- 「連携が悪くなった」(小学校)
  - ・校区内の町会に属していない学校選択制を利用して通学している児童は、町会の行事に参加しにくいから。
  - ・非常変災時に、町会単位で避難するが、学校選択制を利用して通学している児童は、他校への避難が求められるから。
  - ・生活指導上の課題として、学校選択制を利用して通学している児童宅は校区外になるため、児童だけで遊びに行くことができず、交流が少なくなるから。
- 「連携が悪くなった」(中学校)
  - ・校区外から登校している生徒の家庭訪問などは、時間がかかり連携がスムーズにできにくいから。

(分析)

学校選択制の導入により学校と地域、保護者の連携について、小学校の91.7%、中学校の80%が、「特に変わらない」と回答している。また小学校の8.3%、中学校の20%が「連携が悪くなった」と回答している。

## 【視点⑦総括】

小学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約91%、通学区域外の学校を選択した保護者の約78%が、学校の行事やPTA活動に「参加している」または「ある程度は参加している」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者が上回った。「参加していない」または「あまり参加していない」という回答の理由として、「仕事で時間が取れないから」という理由が多かった。

中学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約86%、通学区域外の学校を選択した保護者の約77%が、学校の行事やPTA活動に「参加している」または「ある程度は参加している」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者が上回った。「参加していない」または「あまり参加していない」という回答の理由として、「仕事で時間が取れないから」という理由が多かった。

小学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約78%、通学区域外の学校を選択した保護者の約59%が、住んでいる地域の行事に「参加している」または「ある程度は参加している」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者の割合が上回った。「参加していない」または「あまり参加していない」という回答の理由として、「地域の行事の情報が入ってこないから」という理由が多かった。

中学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約70%、通学区域外の学校を選択した保護者の約50%が、住んでいる地域の行事に「参加している」または「ある程度は参加している」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者の割合が上回った。「参加していない」または「あまり参加していない」という回答の理由として、「子どもが地域の行事に興味がないから」「勉強や習い事を優先させたから」という理由が多かった。

通学区域の学校を選択した保護者の約94%、通学区域外の学校を選択した保護者の約85%が、子どもが卒業した小学校の行事やPTAの活動に「参加していた」または「ある程度参加した」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者が上回った。「全く参加しなかった」または「あまり参加しなかった」という回答の理由として、「仕事で時間が取れなかったから」という理由が多かった。

通学区域の学校を選択した保護者の約80%、通学区域外の学校を選択した保護者の約58%が、子どもが小学校の時に住んでいる地域の行事に「参加した」または「ある程度参加した」と回答しており、通学区域の学校を選択した保護者の割合が上回った。「全く参加しなかった」または「あまり参加しなかった」という回答の理由として、「子どもが地域の行事に興味がないから」「予定が合わなかったから」という理由が多かった。

地域団体関係者の約62%が、地域の繋がりが薄くなっていると回答している。理由としては、「地域活動や行事に関心のない人が多くなったから」「マンションなど居住の形態が変わって、地域のつながりが薄れているから」「地域活動の担い手が少なくなったから」などが多かった。

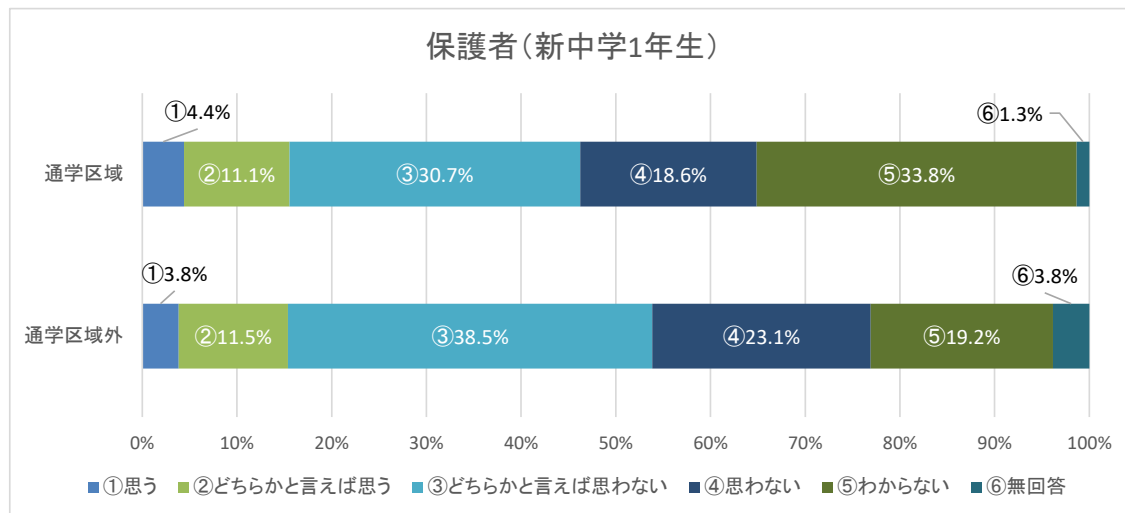
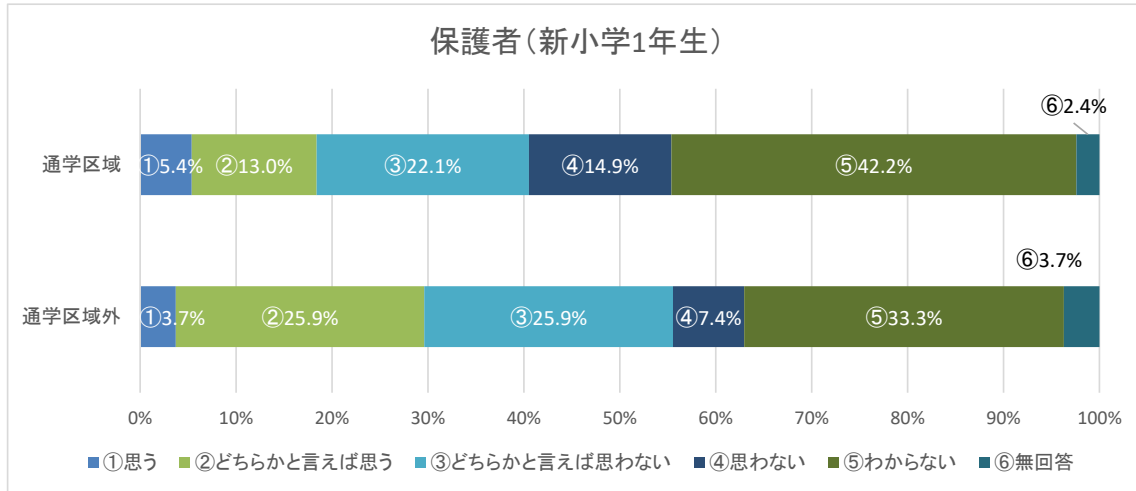
地域団体関係者の約57%が、学校選択制の導入による地域における学校と地域の連携について「特に変わらない」と回答している。

小学校の約92%、中学校の約80%が、学校選択制の導入による学校における学校と地域、保護者への影響について「特に変わらない」と回答している。

## 【視点⑧】 区や学校が提供する情報ではなく、風評等による学校の選択がなされていないか

①大阪市では、学校案内や学校説明会、学校公開等において、各校の情報を提供しています。あなたや他の方も含め、風評(うわさ)等による学校の選択が行われていると思いますか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問16、保護者アンケート(新中学1年生):問16】<1つだけ回答>



### 【具体的な風評の内容】

#### ○保護者(新小学1年生)

- 学力に関すること(15件)
- 先生に関すること(12件)
- 在学生に関すること(10件)
- 校風に関すること(9件)
- いじめに関すること(5件)
- 地域に関すること(3件)

#### ○保護者(新中学1年生)

- 学力に関すること(17件)
- 先生に関すること(7件)
- 校風に関すること(7件)
- 在学生に関すること(6件)
- 地域に関すること(2件)
- いじめに関すること(1件)

(分析)

通学区域の学校を選択した保護者（新小学1年生）の18.4%、通学区域外の学校を選択した保護者（新小学1年生）の29.6%が風評等による学校の選択が行われていると「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答している。

通学区域の学校を選択した保護者（新小学1年生）の37%、通学区域外の学校を選択した保護者の33.3%が風評等による学校の選択が行われていると「思わない」または「どちらかと言えば思わない」と回答し、通学区域の学校を選択した保護者（新小学1年生）の42.2%、通学区域外の学校を選択した保護者（新小学1年生）の33.3%が「わからない」と回答している。

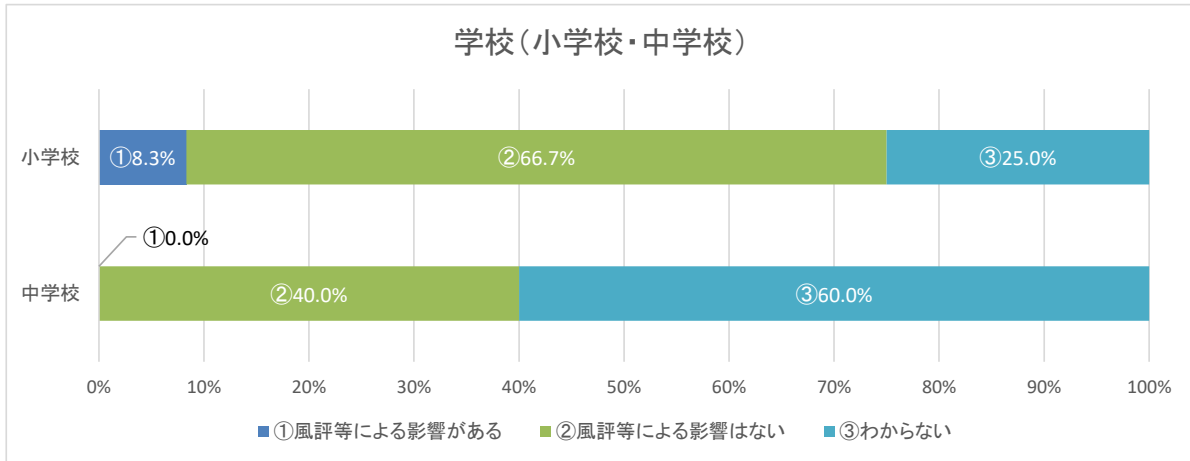
通学区域の学校を選択した保護者（新中学1年生）の15.5%、通学区域外の学校を選択した保護者（新中学1年生）の15.3%が風評等による学校の選択が行われていると「思う」または「どちらかと言えば思う」と回答している。

通学区域の学校を選択した保護者（新中学1年生）の49.3%、通学区域外の学校を選択した保護者（新中学1年生）の61.6%が風評等による学校の選択が行われていると「思わない」または「どちらかと言えば思わない」と回答し、中学校では、通学区域の学校を選択した保護者（新中学1年生）の33.8%、通学区域外の学校を選択した保護者（新中学1年生）の19.2%が「わからない」と回答している。

具体的な風評の内容としては、小中ともに「学力に関すること」「先生に関すること」「在学生に関すること」「校風に関すること」などが多かった。

②区や学校が提供する情報ではない風評(うわさ)等による学校選択によって、あなたの学校に影響がありますか。

【学校状況調査:問12】<1つだけ回答>



(分析)

小学校の8.3%が「風評等による学校選択によって、学校に影響がある」と回答しており、小学校の66.7%、中学校の40%が「影響はない」と回答している。また、小学校の25%、中学校の60%が「わからない」と回答している。

③学校選択にあたり、区役所や学校から提供されていた情報のほかに、どのような情報があればよかったですか。

【保護者アンケート(新小学1年生):問17、保護者アンケート(新中学1年生):問17】<自由記述>

○保護者(新小学1年生)

- ・在学生や保護者の意見(9件)
- ・校則・いじめに関する情報(6件)
- ・先生に関する情報(1件)

○保護者(新中学1年生)

- ・在学生や保護者、卒業生の意見(23件)
- ・部活動や学力、進学先に関する情報(20件)
- ・校則・いじめに関する情報(5件)
- ・先生に関すること(5件)

(分析)

小学校では、区役所や学校から提供された情報のほかに、「在学生や保護者の意見」「校則・いじめに関する情報」があればよかった、という回答が多かった。

中学校では、区役所や学校から提供された情報のほかに、「在学生や保護者、卒業生の意見」「部活動や学力、進学先に関する情報」があればよかった、という回答が多かった。

**【視点⑧総括】**

小学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約37%、通学区域外の学校を選択した保護者の約33%、中学校では、通学区域の学校を選択した保護者の約49%、通学区域外の学校を選択した保護者の約62%が「風評等による学校選択が行われていると思わない」と回答している。「風評等による学校選択が行われていると思う」という回答の具体的な内容としては、小中ともに「学力に関すること」「先生に関すること」などが多かった。

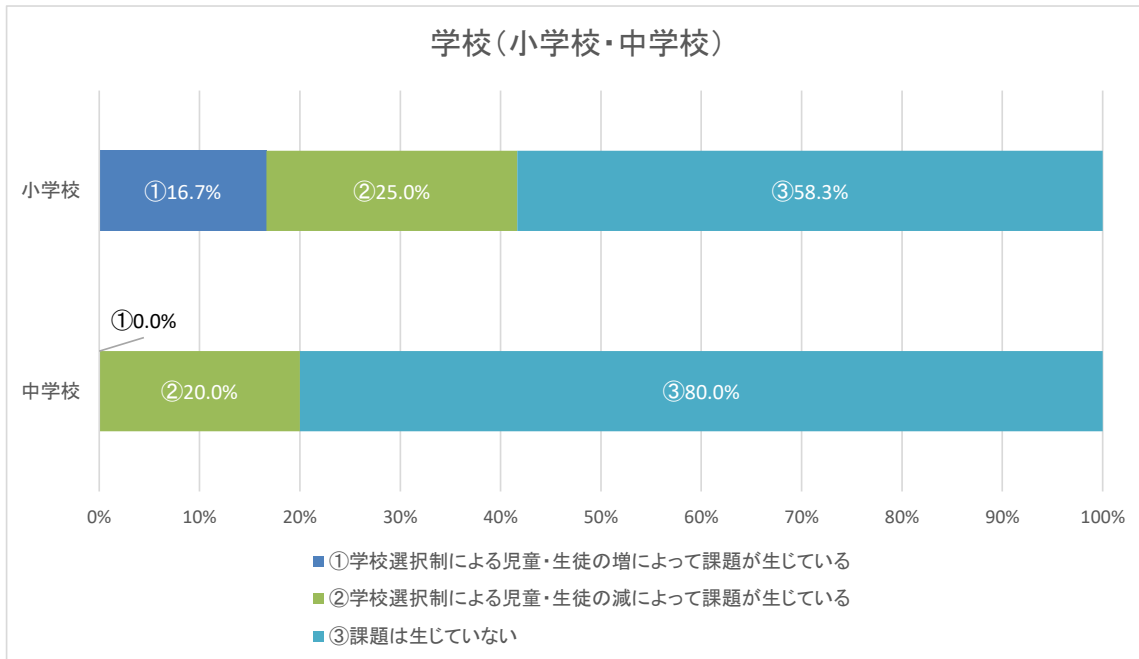
小学校の約8%が「風評等による学校選択制によって、学校に影響がある」と回答しており、小学校の約67%、中学校の約40%が「影響がない」と回答している。また、「わからない」という回答は、小学校で約25%、中学校で約60%だった。

学校選択にあたり、区役所や学校から提供された情報のほかには、小学校では「在学生や保護者の意見」「校則・いじめに関する情報」、中学校では「在学生や保護者の意見、卒業生の意見」「部活動や学力、進学先に関する情報」があればよかったという回答が多かった。

## 【視点⑨】 学校選択制による児童生徒数の増減で、教育的課題が生じていないか

### ①学校選択制による児童・生徒の増減で、あなたの学校に教育的課題が生じていますか。

【学校状況調査：問13】<1つだけ回答>



#### 【理由】

##### ○「課題が生じている」(小学校)

- ・ 支援を要する児童の人数が増え、持続的に経験のある人材を確保できるかが不安。また、充実させることより、鶴見区内で子育てに不安を抱える保護者が、より手厚いサポートを求めて本校を考えることになれば、選択制による児童数が増加が考えられる。
- ・ 区内進学児童で定員がいっぱいのところを、選択制によりさらに圧迫する状況となっている。特に、特別支援学級において、選択の段階では、通常学級として受け入れていたが、後に、特別支援対応の希望となるなど、受け入れが厳しい状況。
- ・ 学校選択制を使用した転出による入学予定者の減少により、学級数が減少した。
- ・ 児童数が大幅に増えることで、教室が足りなくなる。

##### ○「課題が生じている」(中学校)

- ・ 学校選択制を使用した転出による入学予定の児童の減少により、学級数が減少した。

#### (分析)

「学校選択制による児童・生徒の増によって教育的課題が生じている」という回答は、小学校で16.7%、「学校選択制による児童・生徒の減によって教育的課題が生じている」という回答は、小学校で25%、中学校で20%だった。また、小学校の58.3%、中学校の80%が「課題は生じていない」と回答している。

#### 【視点⑨総括】

「学校選択制による児童・生徒の増・減によって教育的課題が生じている」という回答は、小学校で約4.2%、中学校で約20%となっており、「課題は生じていない」と回答している小学校は約58%、中学校は約80%となっている。



## 【調査・分析のまとめ】

大阪市において、平成26年度の学校選択制導入時に通学区域外の学校を選択した割合は、小学校で約5%、中学校で約3%だったが、令和2年度には、小学校で約9%、中学校で約6%と上昇している。

学校選択制導入時に期待された「①学校選択制の満足度はどうか」「②子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことができる」「③子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったか」「④特色ある学校づくりが進んだか」「⑤開かれた学校づくりが進んだか」などのメリットについて、①については学校選択制を利用して通学区域外の学校を選択した保護者（新中学1年生）の約77%が子どもが卒業した小学校に満足していた。また、保護者（新小学1年生）では約78%、地域団体関係者では約69%が「学校選択制は子どもや保護者、大阪市の学校教育にとって良い制度だと思う」と回答している。②については、保護者（新小学校1年生）・保護者（新中学1年生）ともに、「子どもや保護者が意見を述べ、学校を選ぶことが出来ていると思う」という肯定の割合が否定の割合を上回った。③については、通学区域外の小学校・中学校を選択した保護者の、「子どもや保護者が学校教育に深い関心を持つようになったと思う」という肯定の割合が多かった。④については、通学区域の中学校を選択した保護者の「特色ある学校づくりが進んでいないと思う」という否定の割合が肯定の割合を上回った。⑤については、小学校・中学校の地域団体関係者は、「学校における保護者や地域住民の参加が進むような取り組みが充実してきたと思う」と回答した割合が高く、通学区域・通学区域外の中学校を選択した保護者、小学校、中学校ともに「わからない」と回答した割合が高かった。

また、懸念されていた「⑥児童・生徒の通学の安全」「⑦学校と地域、保護者の連携」「⑧風評等による学校選択がなされていないか」「⑨学校選択制による児童生徒数の増減で、教育的課題が生じていないか」について、⑥については、通学区域外の学校を選択した保護者（新小学1年生）を除いて「課題がない」という回答が、「課題がある」を上回った。⑦については、学校の行事・PTAの活動・住んでいる地域の行事に参加している割合は、通学区域の学校を選択した小学校・中学校の保護者が上回った。また、学校選択制の導入により地域と学校との連携について、地域団体関係者の「特に変わらない」という回答が、「連携が良くなった」を上回った。⑧については、通学区域の小学校・中学校を選択した保護者、通学区域外の小学校・中学校を選択した保護者ともに、「風評等による選択が行われていない」という回答が「風評等による選択が行われている」を上回った。

⑨については、小学校・中学校ともに「課題は生じていない」という回答が「課題が生じている」を上回った。